DENON

パーソナル オーディオ システム

D-C7USB

取扱説明書

はじめに

接続

操作

その他

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

はじめに

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

［絵表示の例］



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

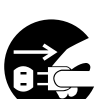


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■ 安全上お守りいただきたいこと

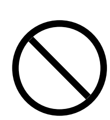
万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く



電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

内部に異物を入れない



通風孔やディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

⚠ 警告 つづき

■ 安全上お守りいただきたいこと

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コード以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因になることがあります。

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。
発熱し、火災の原因となることがあります。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

水場での
使用禁止

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

手を挟まれないように注意

指のケガに注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。

万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■ 置き場所について

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど、高温になるところ

⚠ 注 意 つづき

■ 置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■ 取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 仰向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

まずディスクを取り出し、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどをのせたまま移動しないでください。
倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



■ 結露後の処置は

◎結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。

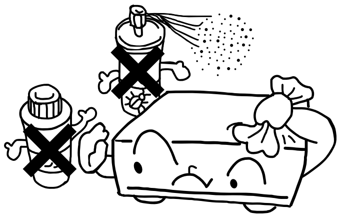
◎ディスクに露が付いている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。



メモ

- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

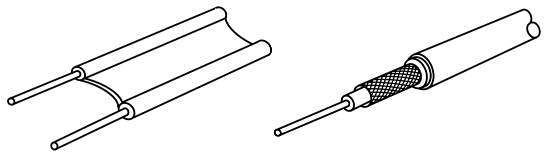
設置の際のご注意

■ 本機やマイコンを搭載した電子機器をチューナーやテレビと同時に使用する場合、チューナー・テレビの音声や映像に雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合には次の点に注意してください。

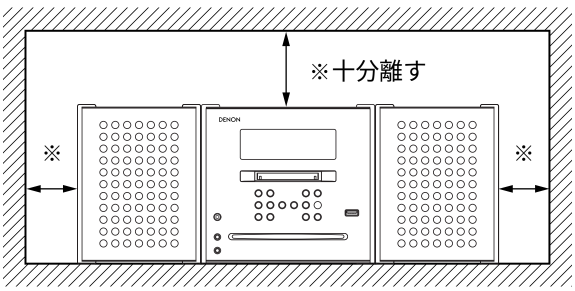
◎本機をチューナーやテレビからできるだけ離してください。

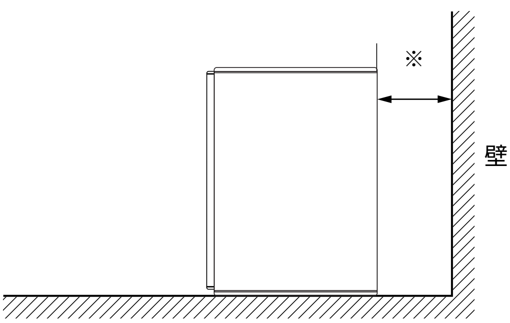
◎チューナーやテレビのアンテナ線を本機の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。

◎特に室内アンテナや300Ωフィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75Ω同軸ケーブルのご使用をおすすめします。



■ 放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他のAV機器などとは十分離して設置してください。（下図参照）





ご注意

- 35 °以下の室温環境でご使用ください。

携帯電話使用時のご注意

■ 本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入ることがあります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

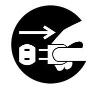
その他のご注意

■ 説明のためのイラストは、原型と異なる場合があります。

■ 取扱説明書を保存してください。
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくと便利です。

使わないときは

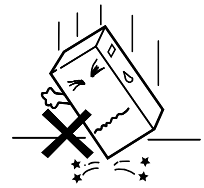
■ ふだん使わないとき



◎電源を切ってください。

◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 移動させるとき



◎衝撃を与えないでください。

◎MDやCDを取り出し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、他のオーディオ機器との接続コードなどを外したことを確認してから移動させてください。
ディスクをセットしたまま移動させると、ディスクが本機の内部に脱落して故障の原因になることがあります。

ステレオ音のエチケット



◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。

◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。

◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

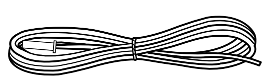
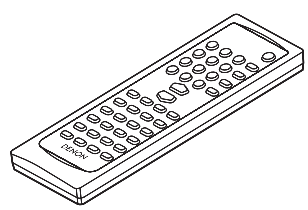
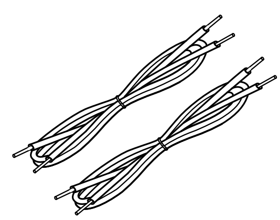
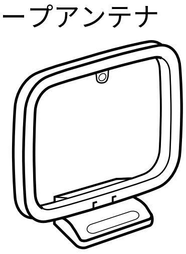
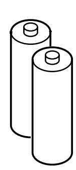
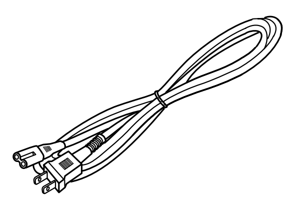
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

付属品について

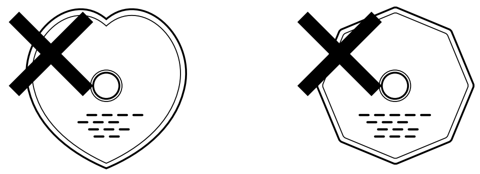
本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

FM用アンテナ　1本 	リモコン（RC-1023）　1個 	スピーカーコード　2本 
AM用ループアンテナ　1個 	単3形乾電池　2本 	電源コード（本機専用）　1本 
取扱説明書（本書）　1冊	製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表　1枚	保証書（梱包箱に貼り付けられています。）

CDの取り扱いとご注意

CDについて

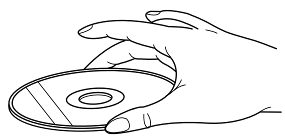
本機では、右のマークが入ったCDをご使用ください。
但し、ハート型や八角形など特殊形状のCDは再生できません。機器の故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。



CDの持ちかた

CDをセットしたり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

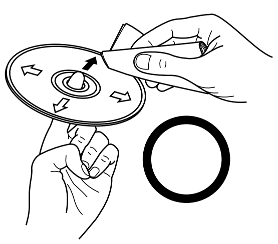
信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などを付けないようにしてください。



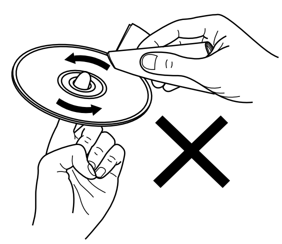
CDのお手入れのしかた

■ CDに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。CDの信号には影響しませんが、音質が低下したり音が途切れることがあります。

■ 拭き取るには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽く拭く。



円周に沿っては拭かない。

ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。



取り扱いについてのご注意

- 指紋、油、ゴミなどを付けないでください。
- 表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと表面に水滴が付くことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずCDを取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気、ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

CDをセットする際のご注意

- CDは1枚だけセットしてください。2枚以上重ねてセットしますと故障の原因になり、CDを傷付けることにもなります。
- ディスクが引き込まれるときに、指を挟まないように注意してください。
- CD以外のものをCD挿入口に入れないでください。
- ひび割れ、変形または接着剤などで補修したCDは使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものは使用しないでください。そのまま使用しますと、CDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。
- 8cmCDを挿入するときは、挿入口中央から入れてください。
- 8cmCDはアダプターは使用しないでください。

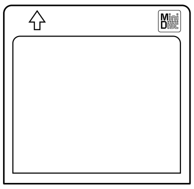
CD-R/RW ディスクについて

CD-R/RW ディスクは傷や汚れ、および記録状態や記録機器の特性により演奏できない場合があります。また、ファイナライズされていないディスクは演奏できません。

MDの取り扱いとご注意

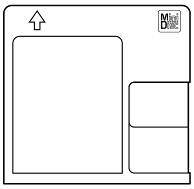
- MDには、再生専用MDと再生/録音用MDがあります。
- 本機で再生/録音できるMDは右のマークがついているものです。

再生専用MD



- 再生のみが可能なMDで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプです。
- 再生専用MDは、CDと同じ光ディスクです。
- 曲の編集などはおこなえません。

再生/録音用MD

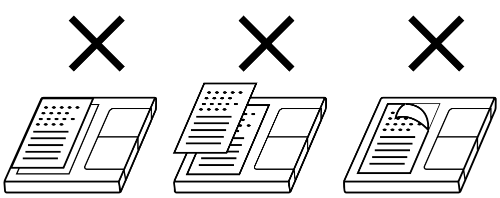


- 再生/録音が可能なMDで光磁気ディスクを使用しており、磁界変調方式で録音をおこないます。
- 書き替えも可能です。

取り扱いについてのご注意

MDはカートリッジの中にディスクが収納されているため、汚れや傷を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。しかしカートリッジの汚れやソリなどが誤動作の原因になることもあります。
次のことに注意してください。

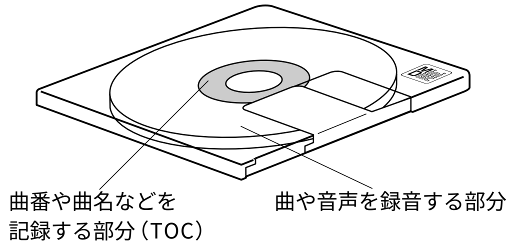
◎ディスク面に直接触れないでください。
◎シャッターを手で開けないでください。
◎ほこりやチリ、湿気の多いところには置かないでください。
◎直射日光が当たるところなど温度の高いところには置かないでください。
◎カートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。
正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。



- ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。（指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り替えて使用してください。

MDの書き込みについて

MDには曲や音声を録音する部分と、曲番や曲名などの情報を記録する部分があります。

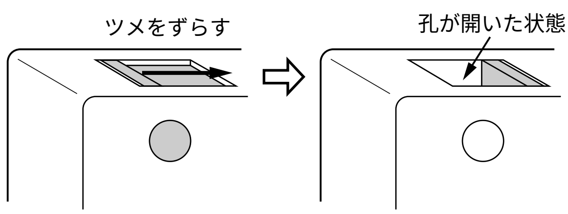


■ TOC（トック）とは

MDには曲や音声とともに曲番、曲名や録音場所など曲を認識するための目次情報（TOC：Table of Contents）が記録されます。再生するときはこのTOCを手がかりにします。また、曲の編集はTOCを書き替えることによっておこなわれます。
このTOCは、編集の後にMD取り出しボタン（⏏）を押してMDを排出する操作と、電源操作ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする操作をしたときにMDに書き込まれます。またTOCは録音が終わったときや録音を途中で止めるために停止ボタン（■）を押したときにもMDに書き込まれます。
書き込みをはじめると、“ TOC ” 表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

誤録音/誤消去防止ツメについて

再生/録音用MDには誤録音や誤消去を防止するためのツメが付いています。
録音した内容を誤って消さないために、このツメをずらして孔を開けた状態にしてください。（下図参照）この状態にすることで録音や消去などの編集ができなくなり、録音内容を保護することができます。
再び録音や消去などの編集をおこなう場合は、ツメを元に戻して孔を閉じてください。



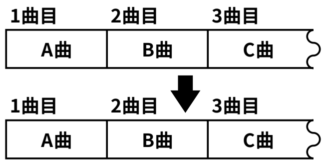
お手入れについて

カートリッジの汚れやほこりなどは無理な力を加えないで、乾いた布で拭き取ってください。

曲番について

■CDからMDに録音したとき

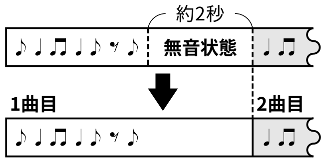
CDについている曲番と同じところに、1曲ごとの曲番が自動的につきます。



●CDからMDに録音したときにCDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

■アナログでMDに録音したとき

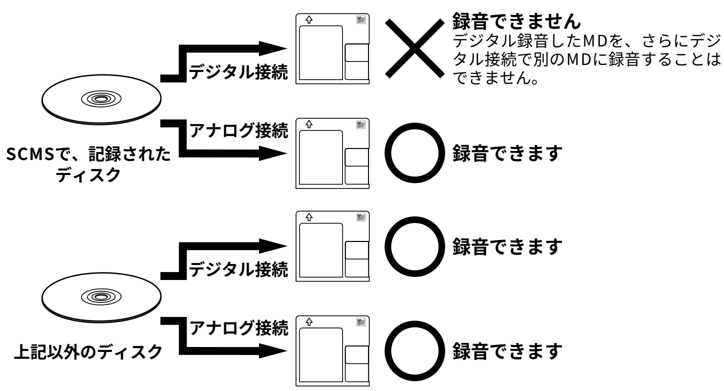
約2秒の無音部分を曲間として、曲番が自動的につきます。
（オートトラックインクリメント機能）



●信号に雑音があるときなど録音する内容によっては、正しい位置に曲番がつかないこともあります。

デジタルコピーについて

デジタル入力でCDなどを録音したCD-RやMDをさらに別のCD-RやMDなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。



※本機ではデジタル録音できないCDとCD-RをMDにワンタッチ録音する場合には、自動的に定速でアナログ録音されます。（ディスプレイに“ ANA ”が表示されます。（☞ 12ページ）
アナログ録音では倍速での録音や録音レベルの調整はできません。

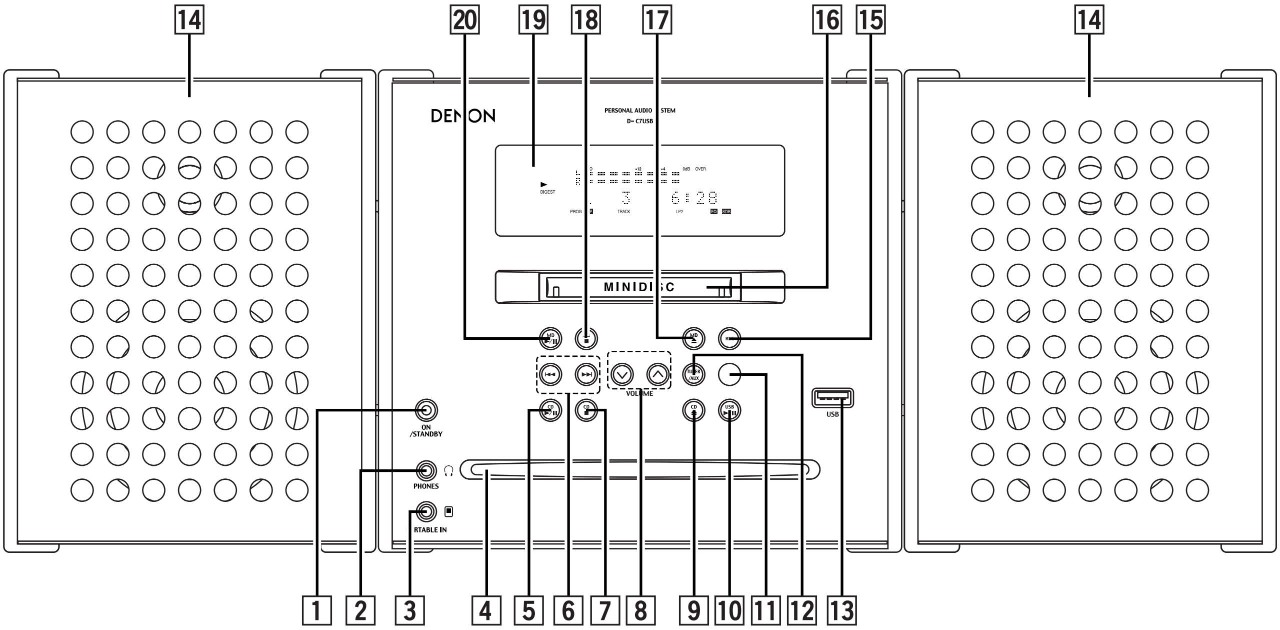
録音のはじめかた

- 録音済みのMDを使用するときは、残り時間にご注意ください。
- 録音済みのMDの内容をすべて消去して、MDの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。（☞ 46ページ）
- 録音をおこなうときは、誤消去防止ツメをずらして孔を閉じてください。（☞ 9ページ）

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については（　）内のページを参照してください。

フロントパネル



1 **電源操作ボタン（ON/STANDBY）**

- 押すと電源が入り、もう一度押すとスタンバイ状態になります。

2 **ヘッドホンジャック（PHONES）**
（☞ 22ページ）

3 **ポータブル入力端子（PORTABLE IN）**
（☞ 33ページ）

4 **CD挿入口** （☞ 19ページ）

5 **CDプレイ/ポーズボタン（CD ▶/❚❚）**
（☞ 19ページ）

6 **スキップボタン（I◀◀/▶▶I）**
（☞ 19、21、23、31ページ）

7 **CD停止ボタン（CD ■）** （☞ 19ページ）

8 **音量ボタン（VOLUME）** （☞ 24ページ）

9 **CDイジェクトボタン（CD ⏏）**
（☞ 20ページ）

10 **USBプレイ/ポーズボタン（USB ▶/❚❚）**
（☞ 31ページ）

11 **リモートセンサー** （☞ 14ページ）

12 **チューナー/オキシャルボタン（TUNER/AUX）**
（☞ 15、23、33ページ）

13 **USB端子** （☞ 31ページ）

14 **スピーカー** （☞ 16ページ）

15 **MD録音ボタン（REC）** （☞ 35ページ）

16 **MD挿入口** （☞ 21ページ）

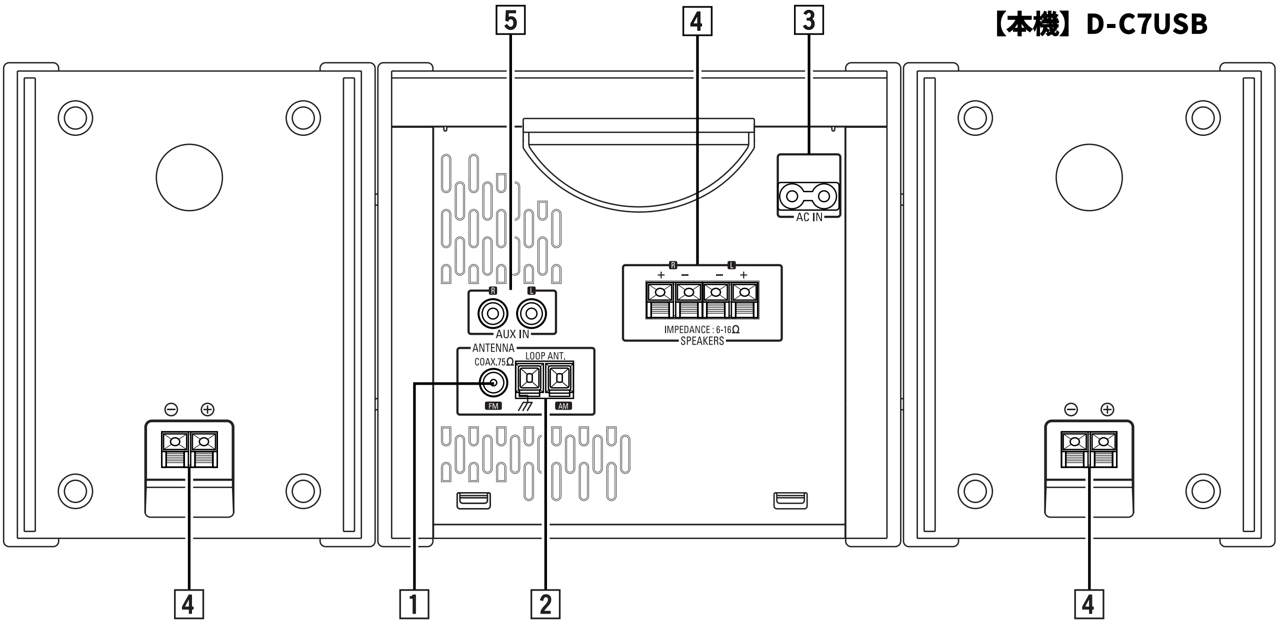
17 **MDイジェクトボタン（MD⏏）**
（☞ 21ページ）

18 **MD停止ボタン（MD ■）** （☞ 21ページ）

19 **ディスプレイ** （☞ 12、13ページ）

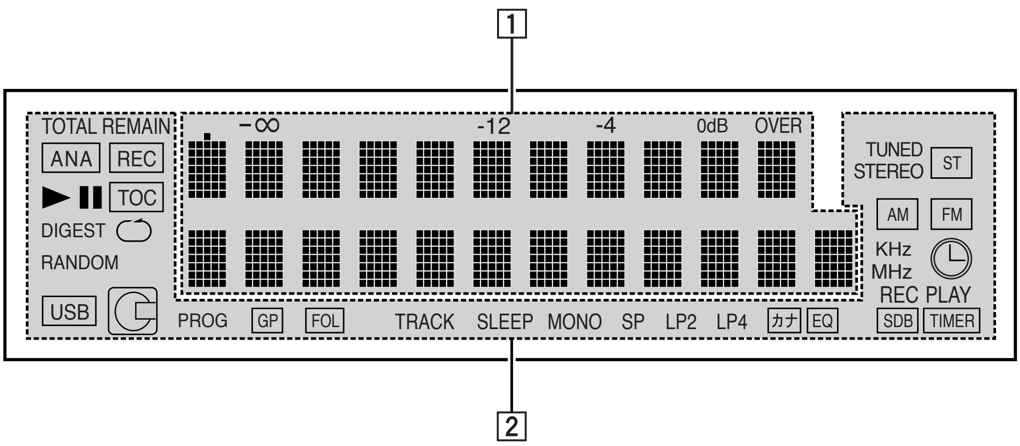
20 **MDプレイ/ポーズボタン（MD ▶/❚❚）**
（☞ 21ページ）

リアパネル



1 **FMアンテナ端子** (☞ 15、16ページ)
2 **AMループアンテナ端子** (☞ 15、16ページ)
3 **電源入力端子** (☞ 15ページ)
4 **スピーカー端子** (☞ 17ページ)
5 **外部入力端子** (☞ 15ページ)

ディスプレイ



1 **メイン表示部**

- 各種ファンクション、時計およびタイマーの設定時刻などを表示します。
- ファンクションをCDまたはMDに切り替えたときには以下の表示をします。
  曲番表示部（TRACK）※ディスクがあるとき
  停止状態：ディスクに収録されている総曲数
  再生およびプログラム再生状態：再生中の曲番
  時間表示部　※ディスクがあるとき
  停止状態：ディスクに収録されている総時間
  再生およびプログラム再生状態：再生中の経過時間
- 音量調節時には音量レベルを表示します。

2 **各種モード表示部**

ANA ：デジタルコピーできないCDをアナログ録音するときに点灯します。(☞ 10ページ)
REC ：録音中に点灯します。
▶ ：再生中に点灯します。
❚❚ ：一時停止中に点灯します。
TOC ：TOCの書き込み中に点滅します。
DIGEST ：ダイジェスト再生中に点灯します。
（リピートマーク） ：リピート再生中に点灯します。
RANDOM ：ランダム再生中に点灯します。
PROG ：プログラム再生中に点灯します。

GP ：グループモード中に点灯します。

FOL ：フォルダモード中に点灯します。

USB ：ファンクションUSBでUSB機器が接続されているときに点灯します。

MONO ：モノラル録音をするときに点灯します。モノラル録音されたディスクを再生するときに点灯します。

SP、LP2、LP4：録音モード状態を表示します。

- SP ：ステレオ録音表示
- LP2：2倍長時間録音表示
- LP4：4倍長時間録音表示

カナ ：カナ入力するときに点灯します。

AM ：AM放送受信モードのときに点灯します。

FM ：FM放送受信モードのときに点灯します。

TUNED ：放送を受信したときに点灯します。

ST ：ステレオ放送を受信したときに点灯します。

：MDがセットに入っているときに点灯します。

STEREO ：チューナー受信がステレオモードになっているときに点灯します。

SLEEP ：スリープタイマー設定時に点灯します。

TIMER ：タイマー設定時に点灯します。

：エブリデイタイマー設定時に点灯します。

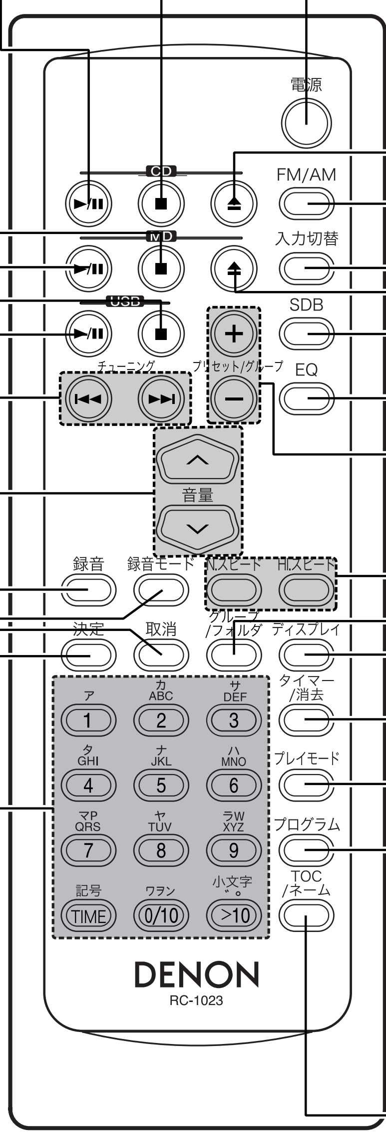
REC ：タイマー録音設定時に点灯します。

PLAY ：タイマー再生設定時に点灯します。

EQ、SDB：

現在設定されている音質の状態を表示します。

リモコン



CD停止ボタン（CD ■）（☞ 19ページ）

CDプレイ/ポーズボタン（CD ►/❚❚）（☞ 19ページ）

MD停止ボタン（MD ■）（☞ 21ページ）

MDプレイ/ポーズボタン（MD ►/❚❚）（☞ 21ページ）

USB停止ボタン（USB ■）（☞ 31ページ）

USBプレイ/ポーズボタン（USB ►/❚❚）（☞ 31ページ）

チューニングボタン（スキップボタン ❙◄◄, ►►❙）（☞ 19、21、23、31ページ）

音量ボタン（☞ 24ページ）

録音ボタン（☞ 35ページ）

録音モードボタン（☞ 34ページ）

取消ボタン（☞ 24ページ）

決定ボタン（☞ 24ページ）

文字入力/ナンバーボタン（☞ 24、25、49ページ）

電源ボタン

CDイジェクトボタン（CD ⏏）（☞ 20ページ）

FM/AMボタン（☞ 23ページ）

入力切替ボタン（☞ 15、33ページ）

MDイジェクトボタン（MD ⏏）（☞ 21ページ）

SDBボタン（☞ 24ページ）

EQボタン（☞ 25ページ）

プリセット/グループボタン（+/−ボタン）（☞ 23、30、31、39ページ）

CDワンタッチ録音ボタン N.スピード/HI.スピードボタン（☞ 34ページ）

グループ/フォルダボタン（☞ 30、31、39ページ）

ディスプレイボタン（☞ 20、22、30、31ページ）

タイマー/消去ボタン（☞ 52、54ページ）

プレイモードボタン（☞ 26ページ）

プログラムボタン（☞ 27ページ）

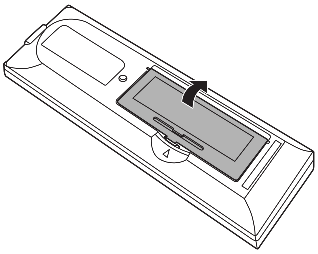
TOC/ネームボタン（☞ 39、45ページ）

リモコンについて

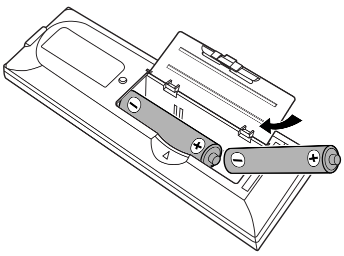
付属のリモコン（RC-1023）を使用すると、離れたところから本機をコントロールすることができます。

乾電池の入れかた

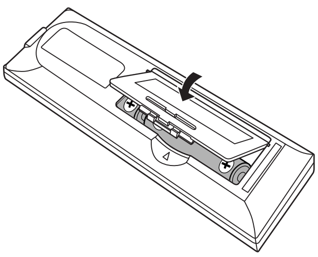
① リモコンの裏ぶたを外してください。



② 単3形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。



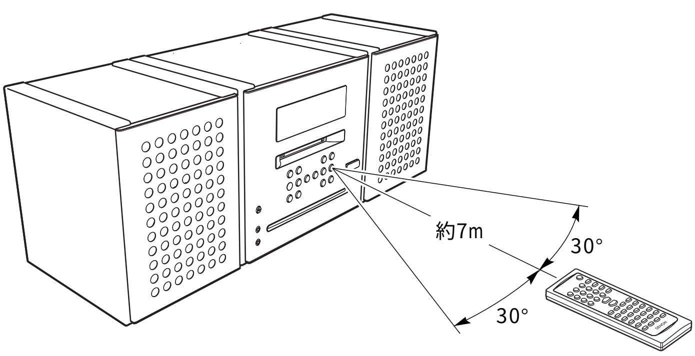
③ 裏ぶたを元通りにしてください。



乾電池についてのご注意

- リモコンには単3形乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。）
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに、⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた



- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。
- 直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったりリモコン受光部に向いていませんと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30 °までの範囲で操作できます。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- 本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

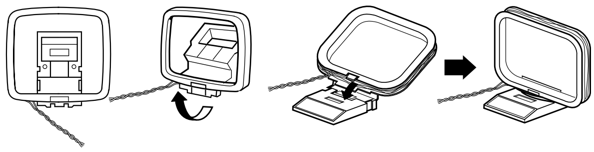
接続

接続のしかた

AM用ループアンテナの組み立てかた

AM用ループアンテナをアンテナスタンド部に挿入して下図のように組み立ててください。

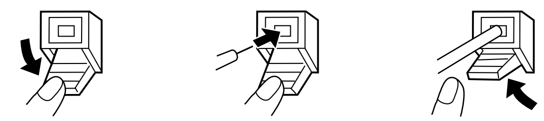
① 取り出す。 ② 曲げる。 ③ 穴に差し込む。



AM用ループアンテナのつなぎかた

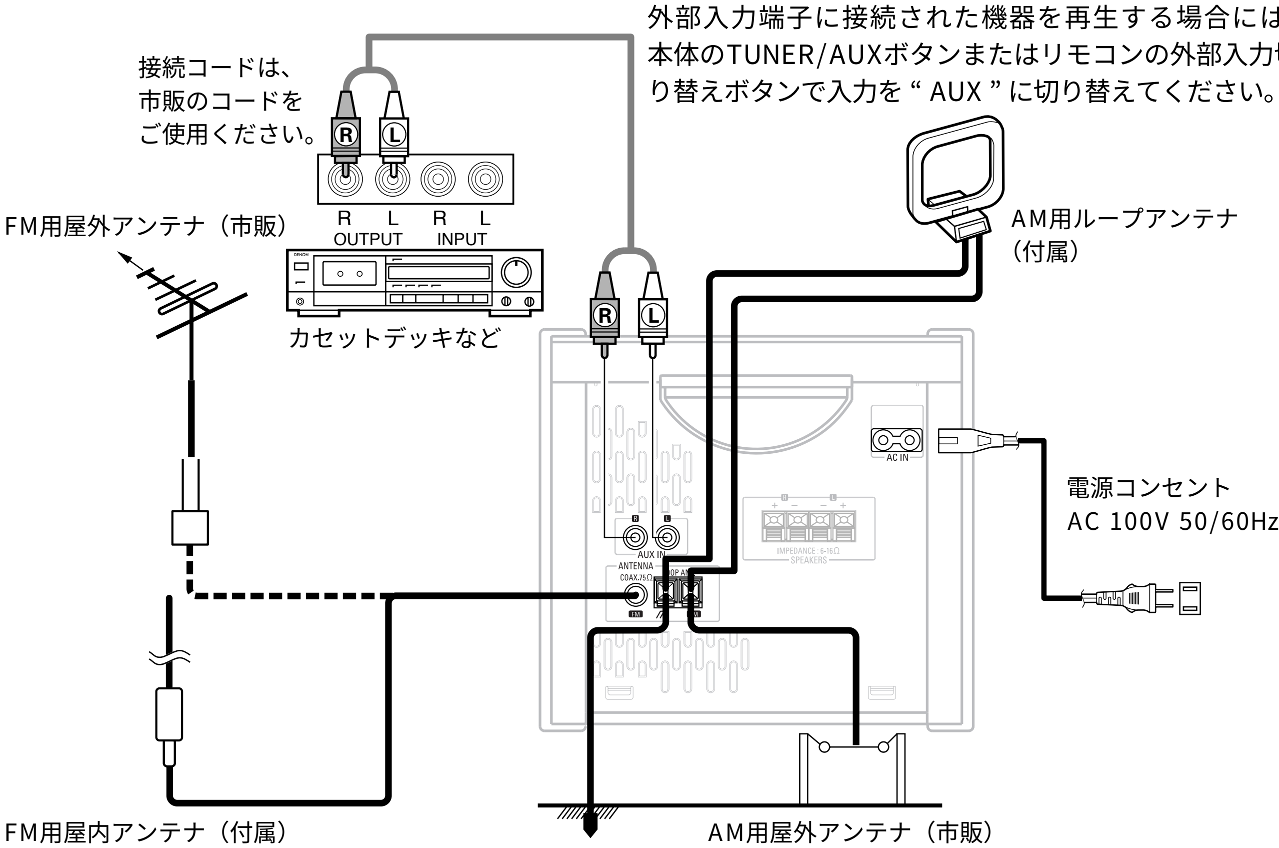
付属のAM用ループアンテナを図のようにアンテナターミナルに接続してください。

① レバーを倒します。 ② アンテナ線を差し込みます。 ③ レバーを戻します。



電源コンセント、アンテナの接続とオーディオ機器のつなぎかた

外部入力端子に接続された機器を再生する場合には、本体のTUNER/AUXボタンまたはリモコンの外部入力切り替えボタンで入力を“ AUX ”に切り替えてください。



ご注意

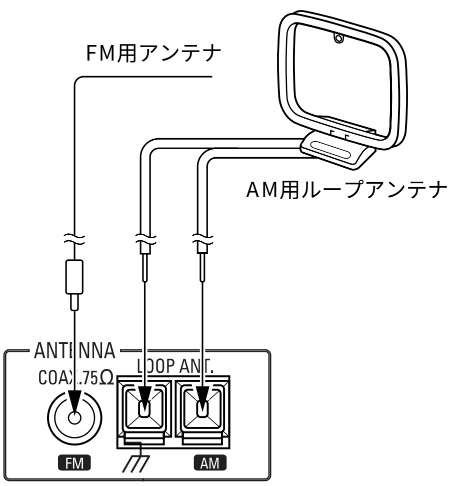
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。
  不完全な接続は、雑音発生の原因となります。
- 接続コード（ピンコード）と電源コードを一緒に束ねたり、テレビなど他の電気製品の近くに接続コード（ピンコード）を設置すると、ハムや雑音の原因となることがあります。

AM用屋内アンテナの設置方法

AM放送を受信（☞ 23ページ）し、音を聞きながら本機からできるだけ離して、歪みや雑音の最も少ない位置に設置してください。接続の極性を逆にした方が良い場合もあります。
AM用ループアンテナを接続しなかったり、また接続しても金属部分に接近していると、AM放送を良好に受信することができません。

AM用屋外アンテナのつなぎかた

AM用屋外アンテナの信号線をAMアンテナ端子（AM ANTENNA）に接続してください。
付属のAM用ループアンテナは、必ず接続しておいてください。



FM用屋内アンテナの設置方法

FM放送を受信（☞ 23ページ）し、音を聞きながら歪みや雑音の最も少ない位置にアンテナの先端をテープや押しピンなどで固定してください。
付属のFM用アンテナは電波が十分強い場所などでの一時的な受信のためのものです。良好な受信のためには、FM用屋外アンテナの接続をおすすめします。

FM用屋外アンテナのつなぎかた

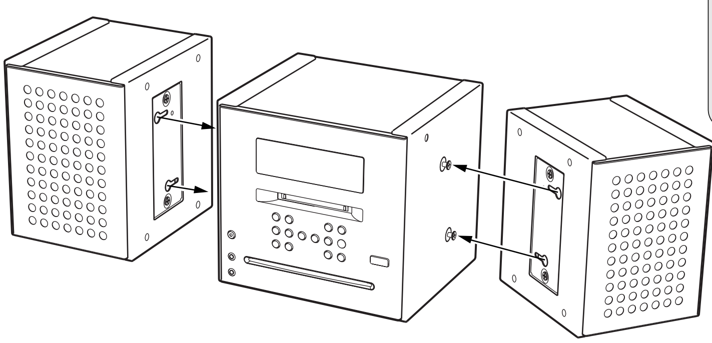
付属のFM用アンテナで放送がきれいに受信できないときは、FM用屋外アンテナを使用して同軸ケーブルを本機のFMアンテナ端子（FM ANTENNA）に接続してください。

屋外アンテナを立てる場所について

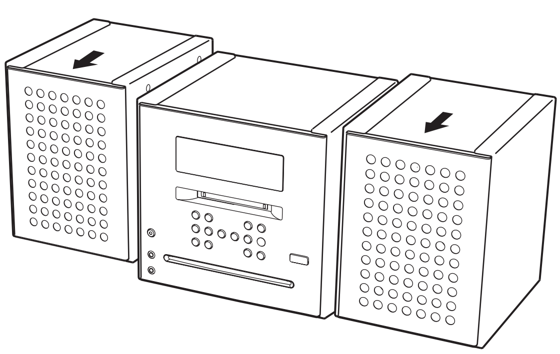
- 放送局の受信アンテナがある方向に立てます。
- ビルや山のかげなどでは、最も良く受信できるところに立てて方向を変えてください。
- 送電線の下には立てないでください。送電線がアンテナに触れると大変危険です。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れたところへ立ててください。
- 落雷の恐れがありますので、あまり高いところには立てないでください。

本体とスピーカーの取り付けかた

- 本体側面のフックをスピーカーの穴に入れます。



- 矢印の方向にスピーカーを押し込みます。



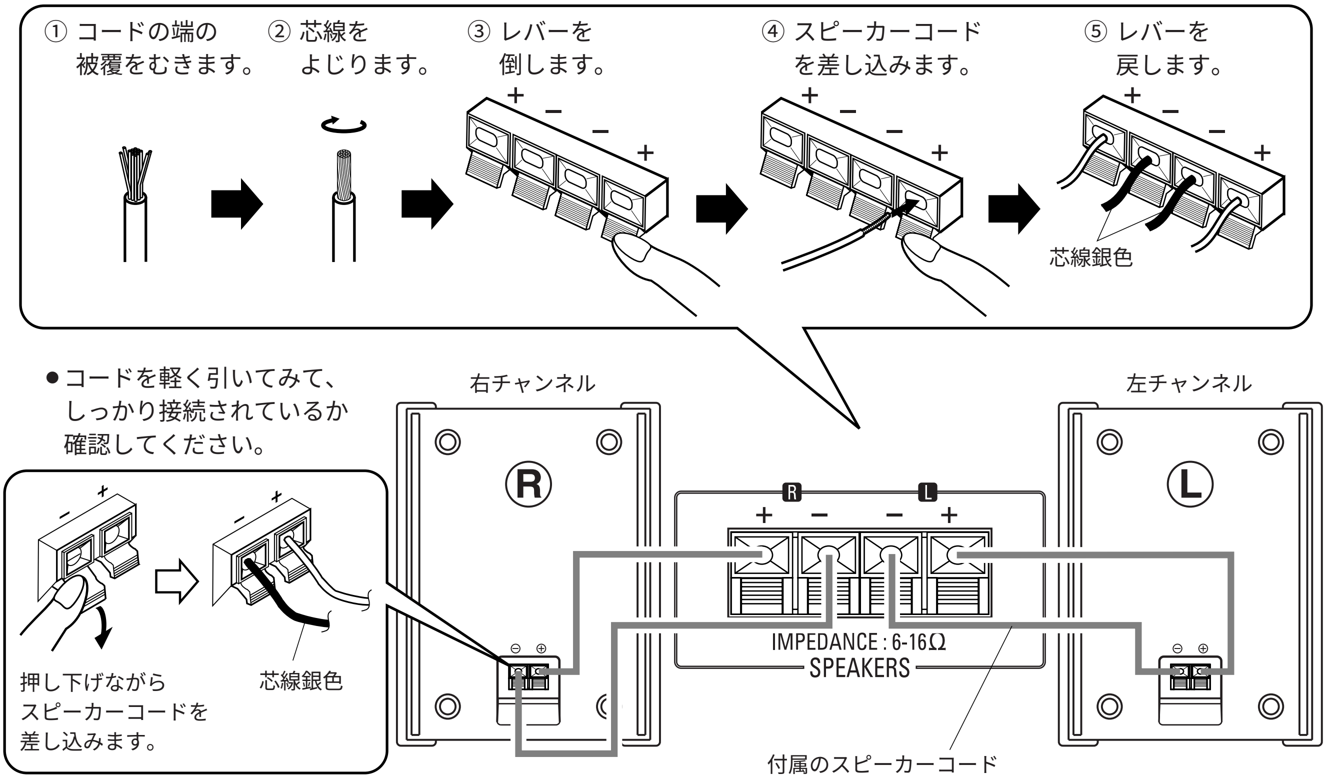
ご注意

- 本体にスピーカーを取り付けた状態で、本機を移動するときは、スピーカーが本体から脱落しないようにご注意ください。

スピーカーのつなぎかた

付属のスピーカーコードを使用して、本体とスピーカーを接続します。
- スピーカーを本体に接続する場合は、必ず電源コードを抜いてからおこなってください。
- スピーカーは左右非対象です。左チャンネル（L側）のスピーカーをL端子に、右チャンネル（R側）のスピーカーをR端子に接続します。

■スピーカーとコードのつなぎかた【赤端子が（+）、黒端子が（−）です。】



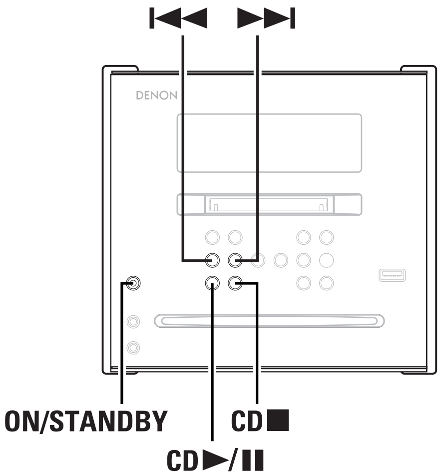
設置上のご注意

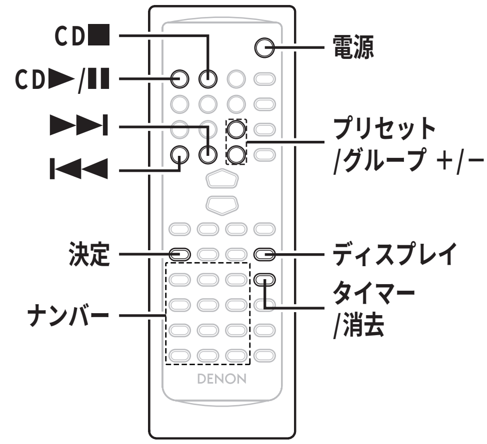
- 低音域が不自然に強調されたりする場合には、コンクリートブロックなどの固い台の上にのせるようにしてください。
- スピーカーの背面や前面に壁やガラス戸などがある場合には、共振や反射を防止するために、厚手のカーテンなどを掛けるようにしてください。
- スピーカーには強力なマグネットがついていますので、時計・磁気テープなどの近くには置かないでください。
- スピーカーシステム（SC-C7USB）はテレビの種類によっては色むらを生じる場合があります。その場合には一度テレビの電源を切り、15〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁回路により、画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。
- スピーカーをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置しますと、ハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。

使用上のご注意

- スピーカー端子とスピーカーは必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）を接続してください。極性を間違えて接続しますと、中央の音が抜けたようになり、楽器の定位がはっきりせず、ステレオの方向感が損なわれます。
- テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定な信号を連続して再生することは、絶対に避けてください。

操作





時計の合わせかた

［例］現在時刻を " 午後7時30分 " に合わせるとき

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **タイマー/消去 ボタンを押す。**

SLEEP 1:00

3 **10秒以内に プリセット/グループ +/– ボタンを押して、" TIME ADJUST " を選ぶ。**

TIME ADJUST

4 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

AM12:00

5 **プリセット/グループ +/– ボタンを押して時の桁を " PM 7 " に合わせ、 決定 ボタンを押す。**

PM 7:00

" 時 " を合わせる

6 **プリセット/グループ +/– ボタンを押して分の桁を " 30 " に合わせ、 決定 ボタンを押す。**

- 約1.5秒たつと、元の表示に戻ります。

PM 7:30

" 分 " を合わせる

時刻を確認するには

電源が " ON " のとき

タイマー/消去 ボタンを押す。
10秒以内に プリセット/グループ +/– ボタンを押して、時刻を表示させる。

- 約10秒たつと、元の表示に戻ります。

電源が " STANDBY " のとき

ディスプレイ ボタンを押す。

- 現在の時刻が表示されます。

" 時計の合わせかた " をおこなっていないとき

- " AM 12:00 " が点滅します。

" 時計の合わせかた " をおこなっているとき

- 現在の時刻が表示されます。
- 時計表示を消すには、もう一度 **ディスプレイ** ボタンを押してください。

メモ

- 現在時刻が表示されているときは、本機の待機消費電力が増えます。低待機電力状態にするには時計表示を消してください。

時刻を修正するには

操作*1*より再度、時計の設定をおこなう。

- このとき、操作*2*では“TIMER SET（タイマー セット）”が表示され、操作*3*では現在の設定時刻が表示されます。

メモ

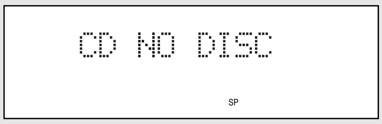
- 電源コードを抜いたり、停電があったときなどは時計の設定は消えてしまいます。
  このとき各種タイマー動作が正しく機能しないため、時計の再設定を行ってください。

CDの聞きかた

再生のしかた

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

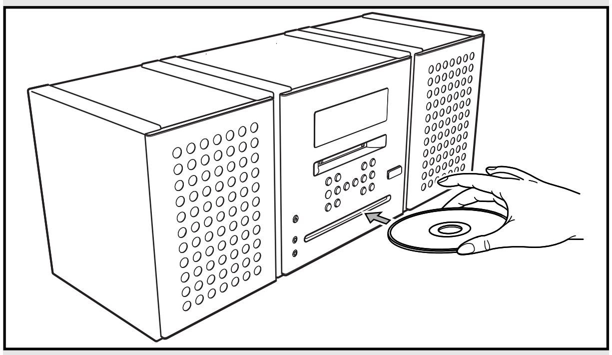
2 **CD■ ボタンを押して、入力を“ CD ”にする。**



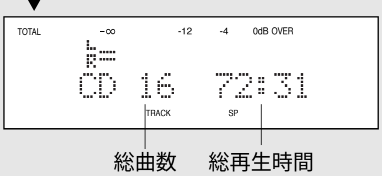
3 **CDをCD挿入口に入れる。**

CDの入れかた

CDの印刷面を上にして、CD挿入口に差し込んでください。
CDは自動的に引き込まれます。

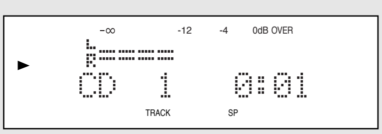






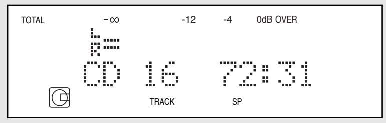
4 **CD►/II ボタンを押して、再生を始める。**

- 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。



停止するには

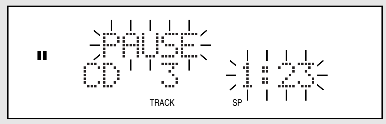
再生中に CD■ ボタンを押す。



一時停止するには

再生中に CD►/II ボタンを押す。

- もう一度押すと、止めた位置から再生します。



曲の頭出しをするには

今聞いている曲の頭から再生するとき

再生中に I◄◄ ボタンを１回押す。

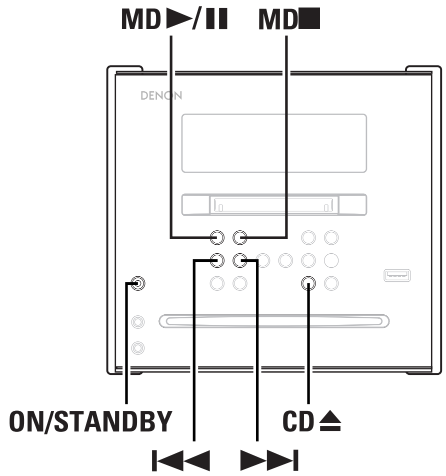
- 再生時間が1秒未満の時に、 I◄◄ ボタンを押すと1つ前の曲に移動します。

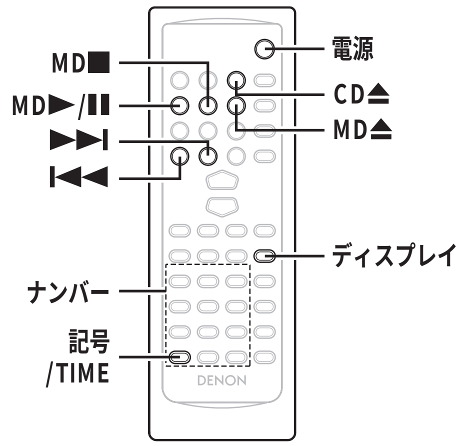
次の曲の頭から再生するとき

再生中に ►►I ボタンを１回押す。

※ 停止中に聞きたい曲番を I◄◄, ►►I ボタンで選んだ後で **CD►/II** ボタンを押すと、選択した曲の最初から再生を始めます。

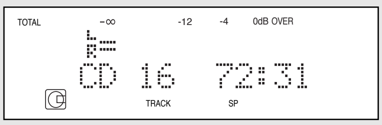
※ リモコンの **ナンバー** ボタンを使って曲番を選ぶこともできます。（☞ 25ページ）

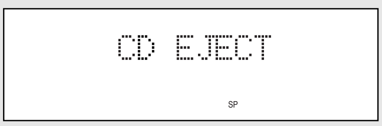




CDを取り出すには

CD⏏ ボタンを押す。





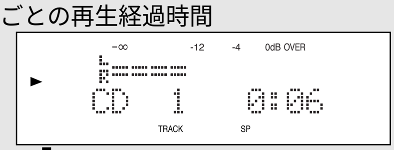
メモ

- CDは1枚だけ挿入してください。
  2枚以上重ねて挿入しますと故障の原因となり、CDを傷つけることにもなります。
- CDを挿入するときは、必ず電源を入れてください。電源が切れているときに無理にCDを押し込むと故障の原因になります。
- CDの挿入や取り出し中に、手で無理に止めたり動かしたりしないでください。故障の原因となります。
- ひび割れ・変形または接着剤などで補修したCDは使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみだしたり、はがしたあとがあるものは使用しないでください。そのまま使用しますとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

再生中に時間表示を切り替えるには

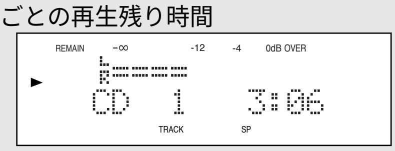
再生中に 記号/TIME ボタンをくり返し押す。

曲ごとの再生経過時間



↓

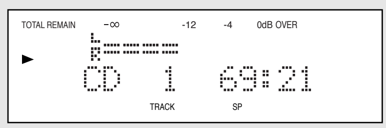
曲ごとの再生残り時間



（ダイジェスト再生中は表示されません。）

↓

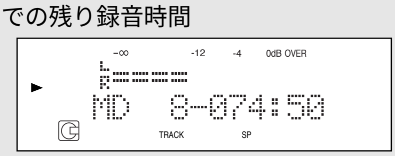
総再生残り時間



（ランダム再生およびダイジェスト再生中は、表示されません。）

↓

MDの録音済みトラック数と設定録音モードでの残り録音時間



（MD未装着の場合は表示されません。）

レベルメータを時計表示に切り替えるには

ディスプレイ ボタンをくり返し押す。

レベルメーター表示 → 時計表示 → CDファンクション表示 →（レベルメーター表示に戻る）

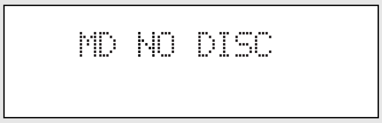
- 時計表示にすると、再生中はその表示のままになります。
- 時計が未設定の場合はファンクションが表示されます。

MDの聞きかた

再生のしかた

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

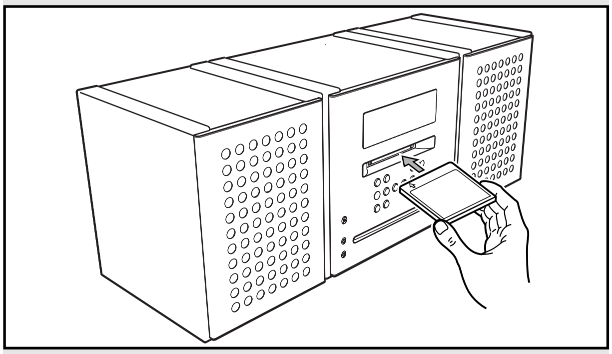
2 **MD■ ボタンを押して、入力を“ MD ”にする。**



3 **MDを入れる。**

MDの入れかた

MD上面の矢印の向きに従って、MD挿入口に差し込んでください。
MDは自動的に引き込まれます。



● が点灯します。

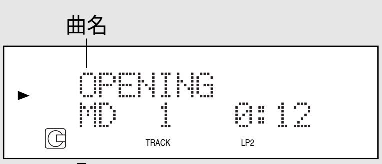
（ディスク名が記録されているMDのみ表示されます。ディスク名が入っていないMDは“ NO TITLE ”が表示されます。）

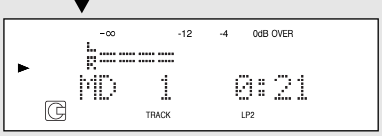


4 **MD►/❚❚ ボタンを押して、再生を始める。**

● 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。

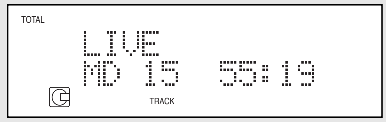
（曲名が入っていないMDは“ NO NAME ”が表示されます。）





停止するには

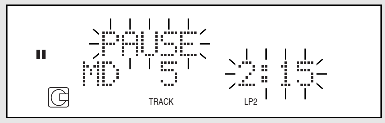
再生中に MD■ ボタンを押す。



一時停止するには

再生中に MD►/❚❚ ボタンを押す。

● もう一度押すと、止めた位置から再生します。



曲の頭出しをするには

今聞いている曲の頭から再生するとき

再生中に I◄◄ ボタンを１回押す。

● 再生時間が1秒未満の時に、 I◄◄ ボタンを押すと1つ前の曲に移動します。

次の曲の頭から再生するとき

再生中に ►►I ボタンを１回押す。

※ 停止中に聞きたい曲番を I◄◄, ►►I ボタンで選んだ後で **MD►/❚❚** ボタンを押すと、選択した曲の最初から再生を始めます。

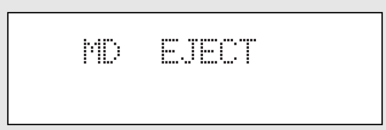
※ リモコンの **ナンバー** ボタンを使って曲番を選ぶこともできます。（☞ 25ページ）

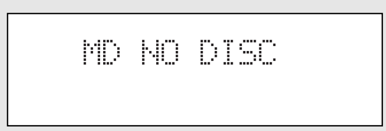
MDを取り出すには

MD■ ボタンを押してMDを停止させた後、MD⏏ ボタンを押す。

● MDが自動的に排出されます。

● が点灯します。

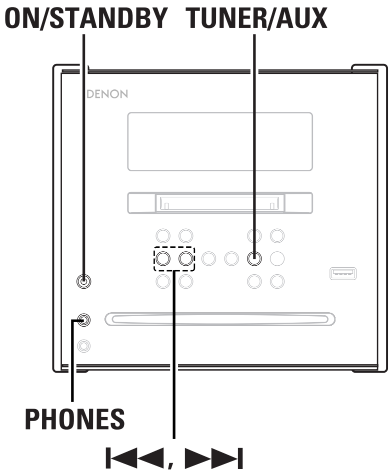


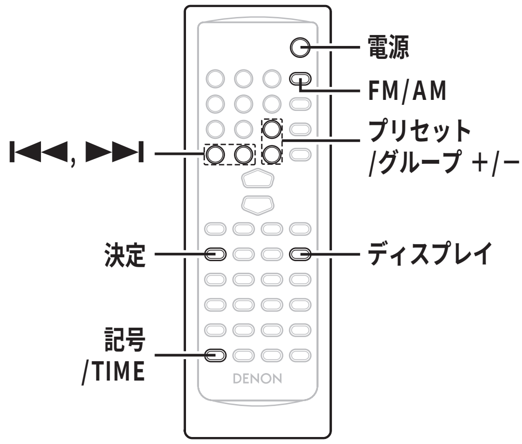


メモ

● MDを入れるときは、必ず電源を入れてください。電源が切れているときに、無理にMDを押し込むと、故障の原因となります。

● 製品を移動させるときは、必ずMDを取り出してください。
MDが製品の中につまって、故障の原因となることがあります。

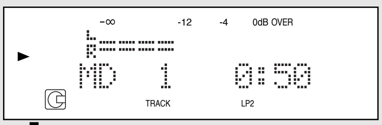




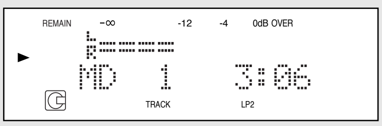
再生中に時間表示を切り替えるには

再生中に 記号/TIME ボタンをくり返し押す。

曲ごとの再生経過時間

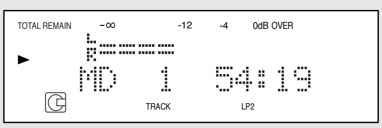


曲ごとの再生残り時間



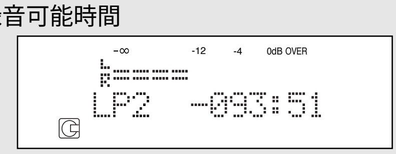
（ダイジェスト再生中は表示されません。）

総再生残り時間



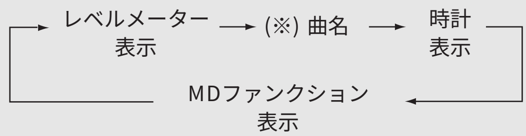
（ランダム再生およびダイジェスト再生中は、表示されません。）
グループモードで再生中の場合は、グループの残り時間が表示されます。）

録音可能時間



再生中に曲名表示や時間表示に切り替えるには

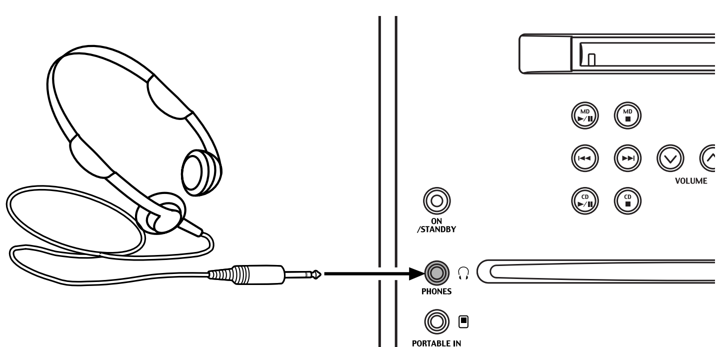
再生中に ディスプレイ ボタンをくり返し押す。



- 表示を切り替えると、再生中はその表示のままになります。
- 時計が未設定の場合は時計表示に切り替わりません。

（※） 曲名が記録されているMDのみ表示されます。曲名が記録されていないMDでは “ NO NAME ” が表示されます。

ヘッドホンで聞く



ヘッドホン（別売り）

ヘッドホンのプラグを PHONES 端子に差し込む。

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

ご注意

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間、聞くことは避けてください。

ラジオ放送の聞きかた

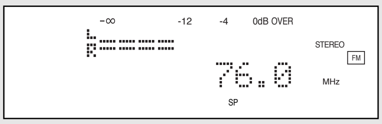
選局のしかた

本機はFMワイドバンド仕様で通常のFM放送のほか、テレビの1〜3チャンネルの音声（モノラル）の受信ができます。
［例］受信周波数を“ FM 82.5MHz ”に合わせるとき

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **TUNER/AUX ボタンまたは FM/AM ボタンを押して“ FM ”を選ぶ。**

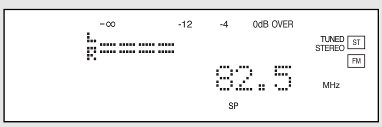
- ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。



FMステレオモード → FMモノラルモード → AMモノラルモード → (※) PORTABLE IN → (※) AUX → FMステレオモード

（※）**TUNER/AUX** ボタンでのみ表示されます。

3 **|◀◀, ▶▶| ボタンを押して、受信周波数を“ 82.5MHz ”に合わせる。**

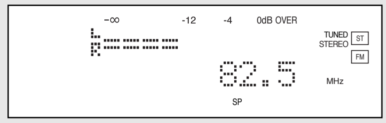


※ **自動同調**（オートチューニング）：
ボタンを0.5秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。
※ **手動同調**（マニュアルチューニング）：
ボタンを小刻みに押して、希望する放送局を受信します。
※ **テレビ放送の受信周波数**：
1チャンネル=95.75MHz / 2チャンネル=101.75MHz / 3チャンネル=107.75MHz

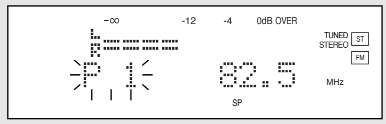
放送局を登録するには

放送局は、AM放送・FM放送を合わせて、40局まで登録できます。
［例］選局した“ FM 82.5MHz ”をプリセット番号“ 3 ”に登録するとき

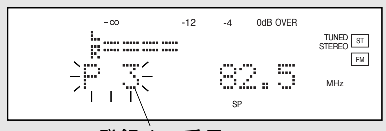
1 **登録したい放送局“ FM 82.5MHz ”を受信する。**



2 **決定 ボタンを押して、登録モードにする。**



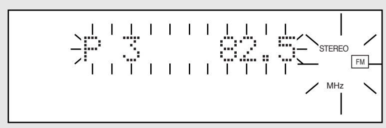
3 **5秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、登録する番号“ 3 ”を表示させる。**



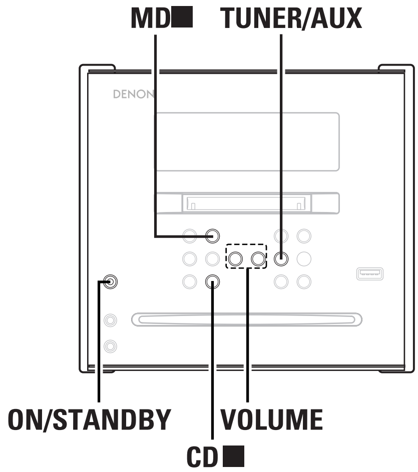
登録する番号

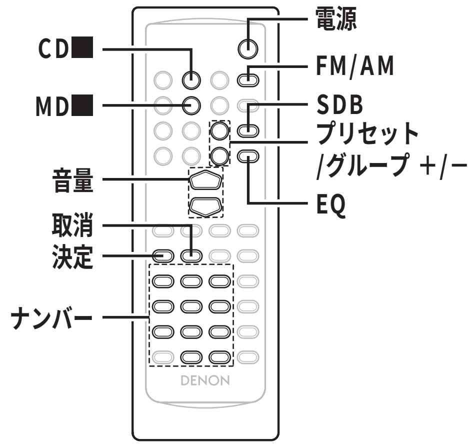
4 **5秒以内に 決定 ボタンを押す。**

- すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。



※ 他の放送局を登録するときは、操作**1**からの手順をくり返してください。



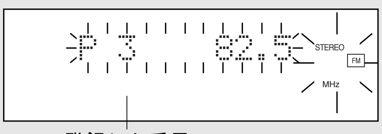


登録した放送局を呼び出すには

設定したプリセット番号 “ 3 ” の放送局を聞く

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れ TUNER/AUX ボタンまたは FM/AM ボタンを押す。**

2 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、登録した番号を選ぶ。**



登録した番号

※ リモコンの **ナンバー** ボタンを使って選局することもできます。

［例］ 1〜10局目を選局するとき
ナンバー ボタン “ **1** ” 〜 “ **0/10** ” で登録した番号を選ぶ。

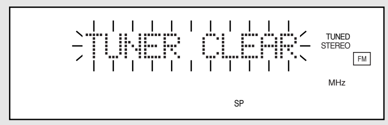
［例］ 11〜40を選局するとき
ナンバー ボタン “ **>10** ” を押した後、登録した番号を選ぶ。

［例］ 28曲目を選局するとき
ナンバー ボタン “ **>10** ” → “ **2** ” “ **8** ”

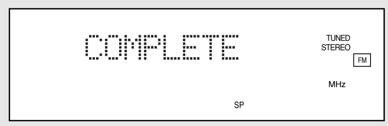
※ ボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。

登録した放送局をすべて取り消すには

1 **取消 ボタンを3秒以上押す。**



2 **決定 ボタンを押す。**



メモ

- 1日以上電源コードを抜いていたり、停電があると、登録した放送局は消えます。
そのときは、もう一度登録し直してください。

音量や音質の調整のしかた

音量を調節するには

VOLUME ボタンまたは 音量 ボタンを押す。

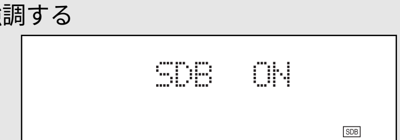


音量 0（小）〜 39、MAX（大）

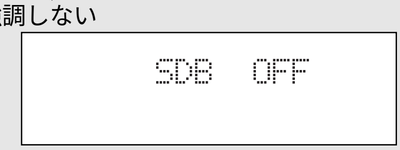
重低音を強調するには

SDB ボタンを押す。

強調する



強調しない

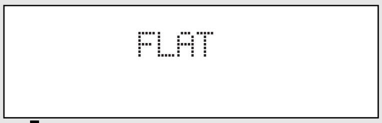


音質を変えるには

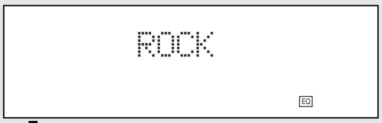
EQ ボタンを押す。

● 音質を表示中に続けてボタンを押すと、音質が切り替わります。

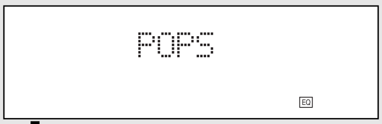
フラットな音



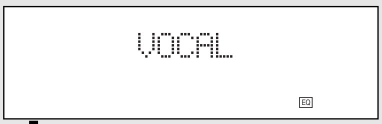
ロックに向いた音



ポップスに向いた音



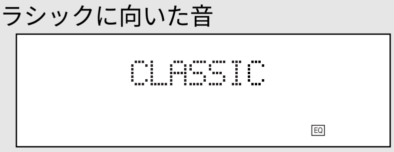
ボーカルを強調する音



ジャズに向いた音



クラシックに向いた音



CDやMDのいろいろな聞きかた

聞きたい曲から聞く『ダイレクト再生』

1

CDを操作するとき

CDを入れてから、 CD■ ボタンを押す。

MDを操作するとき

MDを入れてから、 MD■ ボタンを押す。

2

ナンバー ボタン“1”～“>10”を押して、聞きたい曲番を選ぶ。

● 選んだ曲から再生が始まります。

［例］ 11～99局目を選局するとき
ナンバー ボタン“**>10**”を押した後、曲番を選ぶ。

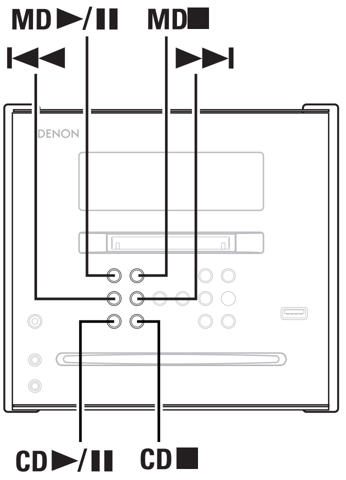
［例］ 28曲目を選局するとき
ナンバー ボタン“**>10**”→“**2**” “**8**”

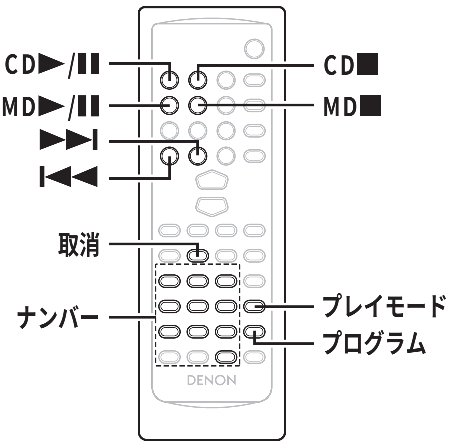
［例］ 20曲目を選局するとき
ナンバー ボタン“**>10**”→“**2**”“**0/10**”

［例］ 100曲目以降を選ぶとき（MD、MP3/WMAディスク、USBメモリー）
ナンバー ボタン“**>10**”を2回押した後、曲番を選ぶ。

［例］ 105曲目を選局するとき
ナンバー ボタン“**>10**”、“**>10**”→“**1**”、**0/10**”、“**5**”

※ ダイレクトボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。
※ ランダム再生やプログラム再生を設定しているときは、ダイレクト選曲はできません。





くり返して聞く・順不同で聞く・曲の先頭90秒だけ聞く 『リピート再生/ランダム再生/ダイジェスト再生』

1

CDを操作するとき

CDを入れてから、 CD■ ボタンを押す。

MDを操作するとき

MDを入れてから、 MD■ ボタンを押す。

2 **プレイモード ボタンを押して、再生モードを選ぶ。**

ノーマル再生



リピート1曲再生



リピート全曲再生



ランダム再生



ダイジェスト再生



3 **再生モードを始める。**

CDを操作するとき

CD►/II ボタンを押す。

MDを操作するとき

MD►/II ボタンを押す。

- **ノーマル再生のとき：**
  最後の曲を再生すると、停止します。
- **リピート1曲再生のとき：**
  選択している1曲を繰り返し再生します。
- **リピート全曲再生のとき：**
  最後の曲が終了したら、また先頭の曲から再生します。
- **ランダム再生のとき：**
  すべての曲を順不同に再生します。
- **ダイジェスト再生のとき：**
  先頭から90秒再生してフェードアウト、そして次の曲へ移動を最終トラックまで繰り返します。

※ ノーマル再生に戻すときは、 **プレイモード** ボタンをくり返し押して、“NORMAL（ノーマル）” を選んでください。

ご注意

- プログラム再生を設定しているときは、ノーマル再生およびリピート全曲再生のみ選択可能となります。
- ダイジェスト再生中はMD編集はできません。

好きな曲だけを記憶させて聞く『プログラム再生』

- プログラムは20曲まで登録することができます。20曲を超えて登録すると、“OVER P20”が表示されます。
- グループ再生モードでのプログラム再生はできません。（☞ 38ページ）

1

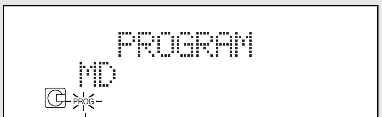
CDを操作するとき

CDを入れてから、 CD■ ボタンを押す。

MDを操作するとき

MDを入れてから、 MD■ ボタンを押す。

2 **プログラム ボタンを押す。**

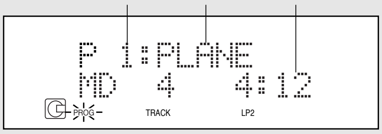


点滅

3 **ナンバー ボタン“1”～“>10”を押して、聞きたい曲番を選ぶ。**

- 曲番を間違えたときは、登録中に **取消** ボタンを押すと、最後に選んだ曲が取り消されます。続けて押すと、順に取り消されます。

プログラム番号　曲名　再生時間



4 ***3*の操作をくり返して、聞きたい曲番を順に選ぶ。**

- CDの場合、プログラム総再生時間が400分以上を超えると“--：--”が表示されますが記憶はされています。

5 **登録が終わったら**

CDを操作するとき

CD■ ボタンを押す。

MDを操作するとき

MD■ ボタンを押す。

6 **再生を始める。**

CDを操作するとき

CD►/II ボタンを押す。

MDを操作するとき

MD►/II ボタンを押す。

- 最後に登録している曲の再生が終わると、自動的に停止します。

登録した順番を確かめるには

停止中に I◄◄ ボタンまたは ►►I ボタンを押す。

- ボタンを押すたびに、登録した曲番が順に表示されます。

曲を追加するには

操作*1*～*5*をくり返す。

- 前に選んでいる曲の後に追加されます。（曲の順番を入れ替えることはできません。）

登録を取り消すには

1 **CD■ ボタンまたは MD■ ボタンを押して、入力を選ぶ。**

2 **停止中に 取消 ボタンを押す。**

- CDまたはMDの全曲の登録が取り消されます。（CDやMDを取り出したときも、登録は取り消されます。）

曲名（曲番）を確認しながら登録するには

1 **CD■ ボタンまたは MD■ ボタンを押して、入力を選ぶ。**

2 **プログラム ボタンを押す。**

3 **I◄◄ ボタンまたは ►►I ボタンを押して、聞きたい曲番を選ぶ。このときMDに曲名が入っていれば、曲名が確認できる。**

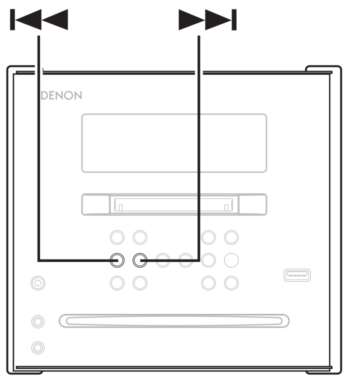
4 **プログラム ボタンを押す。**

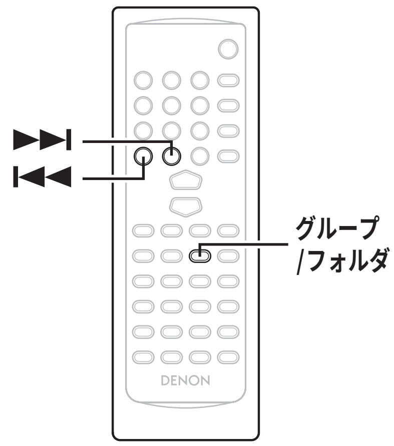
5 **上記の操作*3*、*4*をくり返す。**

6 **登録が終わったら、CD■ ボタンまたは MD■ ボタンを押す。**

メモ

- 再生中や一時停止中には、曲を登録したり取り消すことはできません。
- CDをプログラム再生して、好きな曲だけを録音することができます。



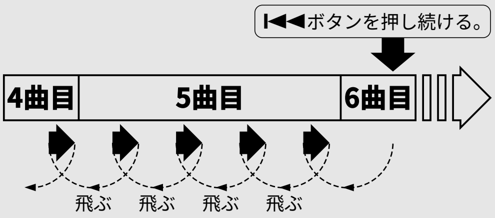


再生中に聞きたい位置を探す『早戻し/早送り』

曲を早く戻すには（早戻し）

再生中に ◀◀ ボタンを押し続ける。

- ボタンから指を離すと、その位置から再生します。
- 最初の曲の頭まで戻すと、通常の再生になります。

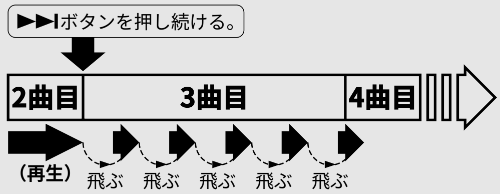


※ 一時停止中に早戻しの操作をすると、再生中より早く戻すことができます。
この場合音が出ませんので、時間表示を目安にしてください。

曲を早く送るには（早送り）

再生中に ▶▶ ボタンを押し続ける。

- ボタンから指を離すと、その位置から再生します。
- 最後の曲の終わりまで送ると、“END（エンド）”が表示されます。



※ 一時停止中に早送りの操作をすると、再生中より早く送ることができます。
この場合音が出ませんので、時間表示を目安にしてください。

MP3/WMAについて

MP3/WMA (Windows Media Audio) のファイルを再生するには

インターネットのホームページ上には、MP3/WMA(Windows Media Audio)形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトの指示に従って音楽をダウンロードし、CD-R/RWやUSB大容量記憶装置に書き込めば、本機で再生することができます。

Windows Media、Windows ロゴは米国、その他の国で、米国Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

＊ あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

フォルダの再生順序について

MP3/WMA形式のファイルが複数のフォルダに記録されている場合、ディスクローディング時に各フォルダに対して、自動的にフォルダ番号を設定します。**グループ/フォルダ** ボタンによるフォルダの切り替えは、この設定されたフォルダ番号でおこなわれます。フォルダに再生可能なファイルがない場合はスキップされ、次のフォルダが選択されます。

例：下図のような構成でMP3/WMA形式のファイルが記録されている場合のフォルダ番号の設定のしかた

① ROOT フォルダをフォルダ1に設定します。
② ROOT フォルダ内にあるフォルダ(FolderAとFolderB)において、ディスクに記録されている順番情報*が先のフォルダをフォルダ2に設定します。
③ FolderA内にあるフォルダ(FolderCとFolderD)において、ディスクに記録されている順番情報*が先のフォルダをフォルダ3に設定します。
④ FolderCにはフォルダがないので、FolderDをフォルダ4に設定します。
⑤ FolderD内にあるFolderEをフォルダ5に設定します。
⑥ ROOT フォルダ内にあるFolderBをフォルダ6に設定します。

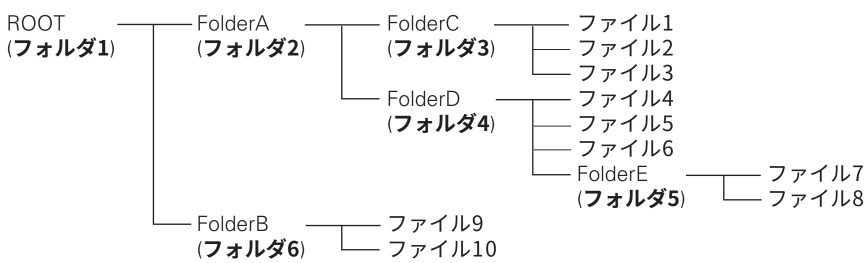
＊ ディスクに記録されるフォルダ、ファイルの順番情報は、ライティングソフトにより異なります。そのため、予想していた再生順番が実際の再生順番と一致しない場合があります。

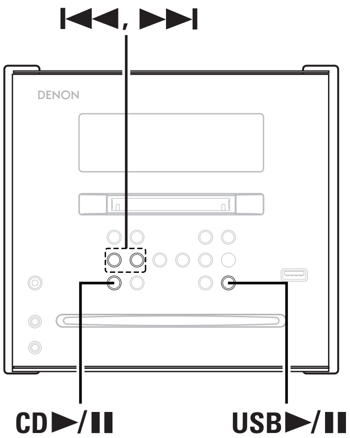
グループ/フォルダ ボタンによりフォルダモードのオン/オフ切り替えができます。このフォルダモード、オン/オフの設定により、再生されるファイルが異なります。

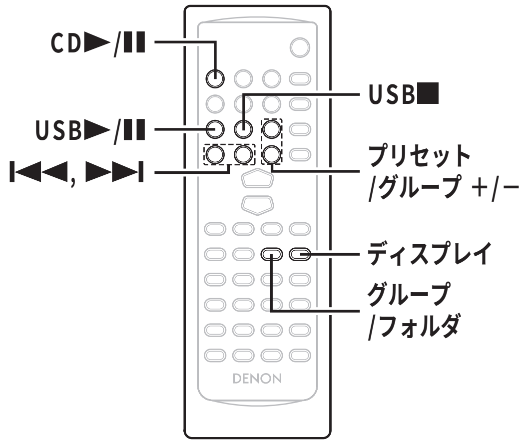
フォルダモードオフの場合：
選択したフォルダ及びファイル以降の全てのフォルダ内のファイルが再生されます。
FolderCのファイル3を選択し場合は、ファイル3以降の全ファイルが再生されます。

フォルダモードオンの場合：
選択したフォルダ内の全ファイルを再生します。

- FolderDを選択した場合は、ファイル4、5、6が再生されます。FolderDに含まれるFolderEは、別フォルダとして扱われるため、ファイル7、8は再生されません。







MP3/WMAディスクの再生のしかた

CD-R/RWの再生をするには

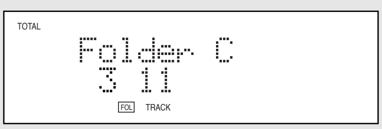
1 **本体の入力を“ CD ”にして、MP3/WMA形式の音楽ファイルを書き込んだCD-R/RWを本体にセットする。**

- 本体にディスクが装着されるとディスク情報が表示されます。



- フォルダを選択する場合は、操作**2**に進みます。
- ファイルを選択する場合は、操作**4**に進みます。

2 **グループ/フォルダ ボタンを押してフォルダモードオンにし、 プリセット/グループ +/− ボタンで再生したいフォルダを選ぶ。**

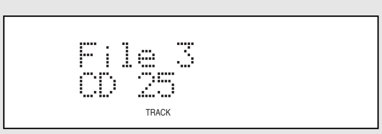


- フォルダモードオンで再生するときは、操作**5**に進みます。
- 再生したいフォルダを変えたいときは、 **プリセット/グループ +/−** ボタンで、もう一度フォルダを選択し直してください。

3 **I◀◀, ▶▶I ボタンで、再生したいファイルを選ぶ。操作5に進む。**



4 **I◀◀, ▶▶I ボタンで、再生したいファイルを選ぶ。(フォルダモードオフ)**



5 **CD▶/II ボタンを押す。**
再生をはじめ、ファイル名が表示される。

- タイトル、アーティスト、アルバムは、ディスクに記録されているときのみ表示されます。
- **ディスプレイ** ボタンで、表示内容を切り替えられます。

レベルメーター表示 → ファイル名表示 → (※1) タイトル/アーティスト表示 → (※1) タイトル/アルバム表示 → (※2) 時計表示 → ファンクション表示 → レベルメーター表示

- フォルダモードオンでの再生中は、 **プリセット/グループ +/−** ボタンにより、再生/一時停止中にもフォルダ選択ができます。選択されたフォルダの１曲目で再生/一時停止します。

（※1）MP3 ID3-Tagはバージョン1.xのみに対応しています。
（※2）時計が設定されている時のみ表示します。

メモ

- “ NOT SUPPORT ” が表示された場合は、“ 著作権保護されているWMAファイル ” または、“ 正しく再生できないファイル ” を選択しています。

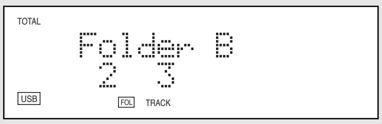
USBメモリーの再生のしかた

USB大容量記憶装置（USBメモリー）の再生をするには

1 **本体の入力を“USB”にし、MP3/WMA形式の音楽ファイルを書き込んだUSBメモリーを本体に接続する。**

- 本体にUSBメモリーが接続されると装置情報が表示されます。
- フォルダを選択する場合は、操作***2***に進みます。
- ファイルを選択する場合は、操作***4***に進みます。

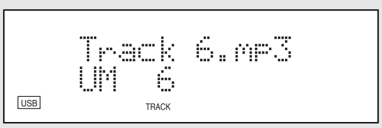
2 **グループ/フォルダ ボタンを押してフォルダモードオンにし、 プリセット/グループ +/− ボタンで再生したいフォルダを選ぶ。**



- フォルダモードオンで再生するときは操作***5***に進みます。
- 再生したいフォルダを変えたいときは、 **プリセット/グループ +/−** ボタンでもう一度フォルダを選択し直してください。

3 **I◀◀, ▶▶I ボタンで、再生したいファイルを選ぶ。操作*5*に進む。**

4 **I◀◀, ▶▶I ボタンで、再生したいファイルを選ぶ。（フォルダモードオフ）**



5 **USB▶/II ボタンを押す。再生をはじめ、ファイル名が表示される。**

- タイトル、アーテスト、アルバムは、USBメモリーに記録されているときのみ表示されています。
- **ディスプレイ** ボタンで、表示内容を切り替えられます。

ファイル名表示 → (※1) タイトル/アーティスト表示 → (※1) タイトル/アルバム表示 → (※2) 時計表示 → ファンクション表示 → レベルメーター表示 → ファイル名表示

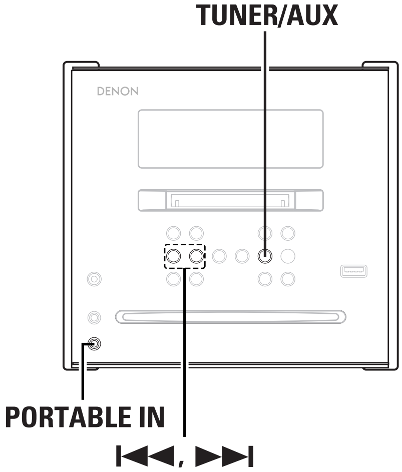
（※1）MP3 ID3-Tagはバージョン1.xのみに対応しています。
（※2）時計が設定されている時のみ表示します。

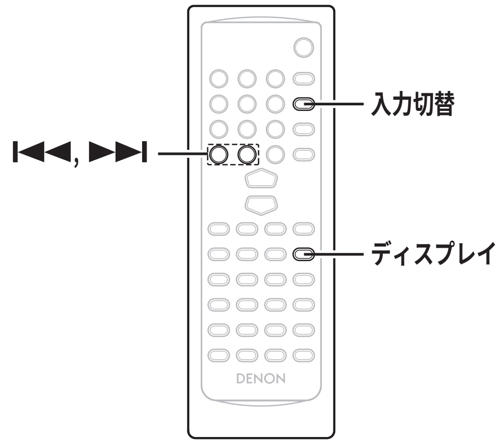
USBメモリーを取り外すには

USBメモリーを取り外すときには、停止状態でリモコンの USB■ ボタンを押して“UNPLUG OK”の表示が出てから取り外す。

メモ

- USBメモリーを本機と接続して使用している時に、USBメモリーのデータが万が一消失あるいは損傷した場合、当社は一切責任を負いかねます。
- USBメモリーとは、フラッシュメモリー・HDD等を内蔵した、USBマスストレージクラスに対応した装置です。
- USBメモリーのフォーマットはFAT16、またはFAT32に対応しています。
- すべてのUSBメモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。
- USBメモリーはUSBハブ経由では動作しません。
- “NOT SUPPORT”が表示された場合は、“著作権保護されているWMAファイル”または“正しく再生できないファイル”を選択しています。
- 本機のUSB端子はパソコンの音源を再生するためのインターフェースではありません。パソコンのUSB端子に接続しても、パソコンの音声を出力することはできません。
- USBメモリーに入っているデータが多い場合、データを読み込むのに時間がかかる場合があります。





くり返して聞く・順不同で聞く・曲の先頭90秒だけ聞く 『リピート再生/ランダム再生/ダイジェスト再生』

- MP3/WMA形式で記録されたディスクにおいても、リピート再生やランダム再生などのいろいろな聞きかたができます。
- 26ページの " くり返して聞く・順不同で聞く・曲の先頭90秒だけ聞く " の操作**2**の手順で再生モードを選択し、再生をおこなってください。

※ フォルダモードオンのときは選択されているフォルダの中のファイルのみが各再生モードで再生されます。

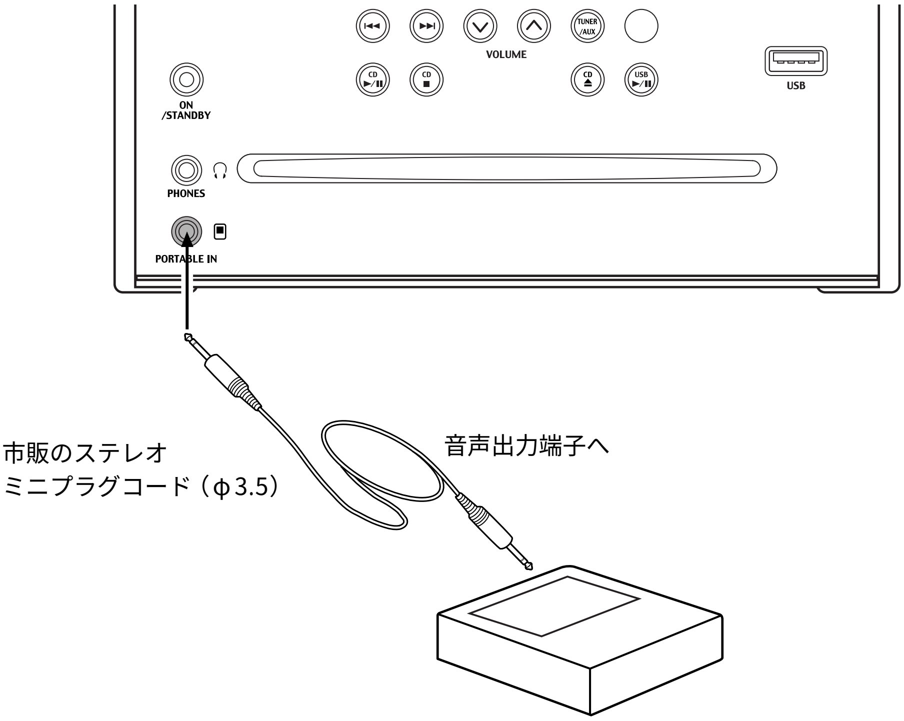
ご注意

- 本機で対応している規格は " MPEG-1 Audio Layer-3 "（サンプリング周波数fsは32、44.1、48kHz）です。それ以外の " MPEG-2 Audio Layer-3 "、" MPEG-2.5 Audio Layer-3 " およびMP1、MP2などには対応していません。
- MP3のディスクとUSBメモリーではプログラム再生ができません。
- MP3ファイルの再生順序は、CD-R/RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があるため任意の再生順序とは異なる場合があります。
  USBメモリーも同様に任意の再生順序とは異なる場合があります。
- MP3ファイルをCD-R/RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは " ISO9660レベル1 " を選択してください。他のフォーマットで記録された場合、正常に再生できないことがあります。ライティングソフトによっては " ISO9660 " フォーマットで記録できないものがあります。" ISO9660 " フォーマットのライティングソフトをご使用ください。また、パケットライトには対応していません。
- ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。
- 一般にビットレートが高いほど音質が良くなります。MP3の対応ビットレートは32～320 kbps、WMAは64～160 kbpsです。本機では128kbps以上のビットレートで記録されたMP3/WMAのご使用をおすすめします。
- MP3/WMAファイルには必ず拡張子 " .MP3 "" .WMA " を付けてください。" .MP3 "" .WMA " 以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。
  （マッキントッシュのパソコンの場合、半角英数大文字8文字以内のファイルネームの最後に拡張子 " .MP3 " を付けてCD-R/RWに記録することにより、MP3ファイルの再生が可能です。）
- CD/CD-R/RWのレーベル面や記録面にシールやテープなどを貼らないでください。のりなどがディスク表面に付着すると、本機の内部にディスクが残り、取り出せなくなる恐れがあります。
- プレイリストには対応していません。
- 本機は32文字までのフォルダ名やファイル名を表示できます。
- 本機は、MP3 ID3-Tagのバージョン1.xのみに対応しています。
- 可変ビットレートファイルの再生時には、正しく時間表示されないことがあります。
- **ディスプレイ** ボタンでの時間表示切り替えには対応していません。
- タイトル名やアーティスト名が記録されているファイルに対しては、再生中にリモコンの **ディスプレイ** ボタンでタイトル名やアーティスト名を表示できます。
- 書込の終了してないマルチセッションディスクやCD-R/RWも再生できますが、10セッション以内で閉じたディスクまたは書込終了したディスクの再生をおすすめします。
- WMAのメタタグは、タイトル、アーティスト、アルバムに対応しています。
- 著作権保護されたWMAファイルは再生できません。
- 半角英数字と _ （アンダースコア）を32文字まで表示できます。
  また、漢字・ひらがな・カタカナ・その他の記号で記録されたフォルダネーム、ファイルネームは表示されません。

ポータブル機器と接続して使う

お手持ちのポータブル機器の音声出力端子を本機のポータブル入力端子につなぐと、簡単に音楽を楽しむことができます。

- 接続する前に、各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。



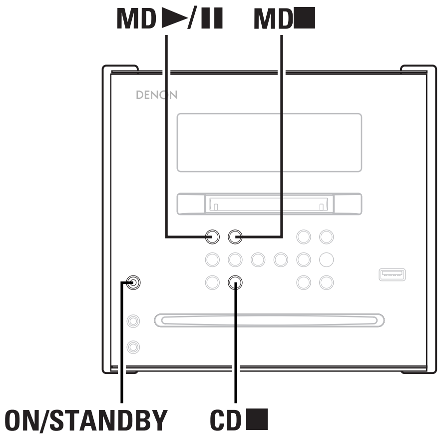
1 **ポータブル機器の音声出力端子と本機の PORTABLE IN を接続する。**

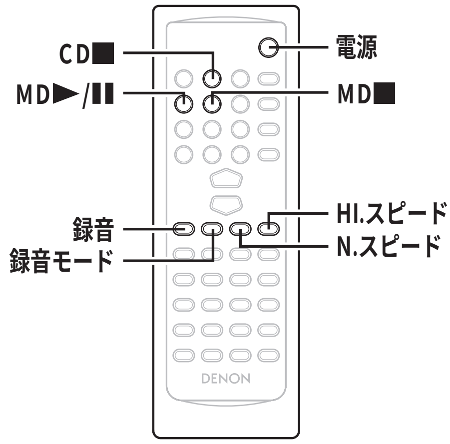
2 **TUNER/AUX ボタンまたは 入力切替 ボタンを押してPORTABLEに切り替える。**

- 音が歪む場合には、音源からの出力レベル（ボリウム）を下げて、本機のボリウムをあげると改善されることがあります。
- ノイズが多い場合には、音源からの出力レベル（ボリウム）を上げて、本機のボリウムを下げると改善されることがあります。

メモ

- 接続前に、各機器の電源を切ってください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- USBコネクタを持つポータブル機器で接続コードとUSBコネクタを両方接続した場合や、接続コードと電源コードを一緒に束ねたりした場合、ハムや雑音の原因になることがあります。
- **PORTABLE IN** 端子は、ポータブルオーディオプレーヤーの出力レベルに合わせた感度設定になっています。そのため本端子に据置型プレーヤーなど出力レベルの高い音声出力を接続すると、音が歪んだり突然大きな音が出て聴力障害などの原因になることがあります。
  この場合リアパネルの外部入力端子（AUX IN）をご使用ください。（☞ 15ページ）





MDの録音のしかた

CDからMDへ録音する『ワンタッチ録音』

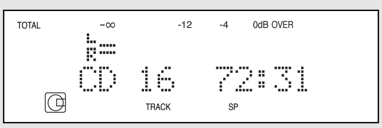
- MP3/WMAディスクは“ワンタッチ録音”できません。（☞ 35ページ）

1 **ON/STANDBY ボタンまたは 電源 ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **再生するCDを入れる。**

3 **録音用MDを入れる。**

4 **CD■ ボタンを押して、入力を“CD”にする。**



5 **録音モード ボタンを押して、録音モードを選ぶ。**

MONO → SP → LP2 → LP4（LP4からMONOへ戻る）

- 録音中は切り替えができません。
- 録音モードは次に変更するまで変わりません。

表示	録音モード	**録音時間**（80分のMDに録音する場合）
SP	ステレオ録音	最大　80分
LP2	2倍長時間録音（ステレオ）	最大 160分
LP4	4倍長時間録音（ステレオ）	最大 320分
MONO	モノラル録音	最大 160分

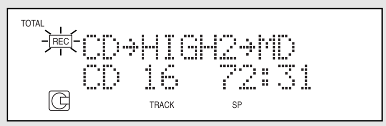
6 **録音を始める。**

高速で録音するとき

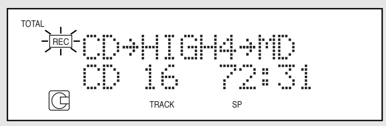
HI. スピード ボタンを押す。

- **HI. スピード** ボタンを押すごとに2倍速録音と4倍速録音を切り替えます。

2倍速録音の場合



4倍速録音の場合



等速で録音するとき

N. スピード ボタンを押す。

- 録音が終わると、CDとMDが自動的に停止します。
- 録音可能時間が録音したい曲の時間より少ない場合は、録音可能な曲数と録音できない曲数がくり返し表示されます。
  “TTL（トータル） ＊＊（録音可能な曲数） ＊＊:＊＊（時間の合計）”“OVR（オーバー） ＊＊（録音できない曲数） ＊＊:＊＊（時間の合計）”
  録音可能な曲のみを録音する場合には、もう一度 **HI. スピード** ボタンまたは **N. スピード** ボタンを押してください。
- MDディスクの録音可能時間で1曲も録音できない場合“EDIT（エディット） OVER（オーバー）”が表示され、録音が解除されます。

録音を停止するには

CD■ ボタンまたは MD■ ボタンを押す。

- CDとMDが停止した後、MDに曲番を書き込みます。
- 録音中に一時停止することはできません。

MDのLP4での録音についてのご注意

4倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音される場合があります。
音質を重視する録音をおこなうときには、ステレオ録音（SP）または2倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

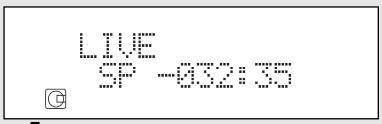
メモ

- LP2/LP4録音した曲は、LP2/LP4再生に対応していない機器で再生すると、曲名の頭に“LP”が表示され、無音状態になります。（機器によっては動作・表示が異なる場合があります。）
- CDの傷・汚れや録音状態により、倍速で録音したMDに音切れが生じることがあります。このときは定速で録音してください。
- 4倍速/2倍速録音をおこなう際、ディスクによってはノイズが録音される場合があります。このような場合は等速で録音をおこなってください。

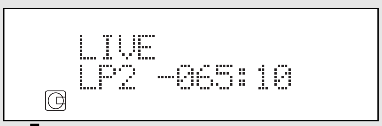
録音モードや録音残り時間を確かめるには

停止中に入力を“MD”にして、 録音モード ボタンをくり返し押す。

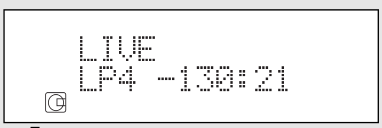
ステレオ録音モードでの録音残り時間



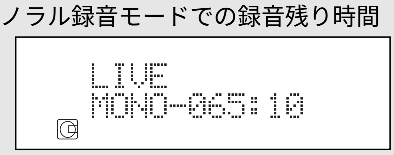
2倍長時間録音モードでの録音残り時間



4倍長時間録音モードでの録音残り時間



モノラル録音モードでの録音残り時間



- 録音残り時間を表示した後、元の表示に戻ります。
- 次に録音するときは、ここで確認したモードで録音を始めてください。

ラジオ放送をMDへ録音する

1 **録音したい放送局を受信する。**

2 **録音用MDを入れる。**

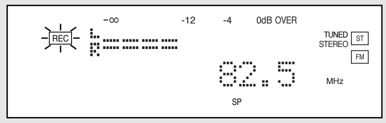
3 **録音モード ボタンを押して、録音モードを選ぶ。**

- 録音中は切り替えができません。
- 録音モードは次に変更するまで変わりません。

MONO → SP → LP2 → LP4 →（MONOへ戻る）

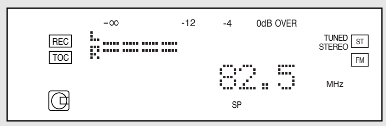
4 **録音 ボタンを押す。**

- 録音のスタンバイ状態になります。



5 **MD►/II ボタンを押して、録音を始める。**

- MDの録音残り時間がなくなると、MDは自動的に停止します。



MP3/WMAディスクからMDへ録音する

1 **録音用MDを入れる。**

2 **MP3/WMAディスクを入れて、録音したいフォルダ/ファイルを選択する。**

（☞ 30ページ）

3 **録音モード ボタンを押して、録音モードを選ぶ。**

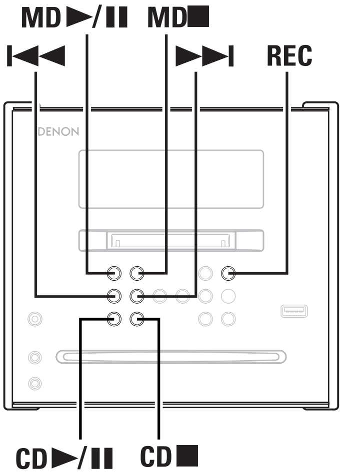
4 **録音 ボタンを押す。**

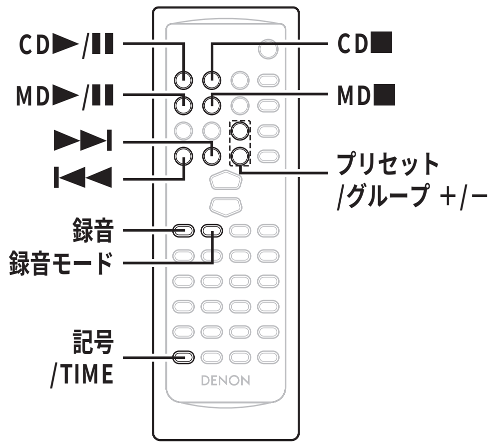
- 録音のスタンバイ状態になります。

5 **CD►/II ボタンを押して、録音を始める。**

メモ

- USBメモリーに録音されている曲をMDへ録音することはできません。





録音を一時停止するには

録音中に MD▶/II ボタンを押す。

- もう一度押すと、録音を再開します。

録音を停止するには

録音中に MD■ ボタンを押す。

- MDに曲番を書き込んだ後、MDが停止します。

録音中に自分で曲番をつけるには

曲番をつけたい位置で 録音 ボタンを押す。

- 曲番が1つ増えて、録音はそのまま続きます。
- 曲番をつけた後、約4秒間は次の曲番をつけることができません。

録音中に録音可能時間を確認するには

録音中または録音スタンバイ状態で 記号/TIME ボタンを押す。

- 録音可能時間が表示されます。

録音中：
記号/TIME ボタンをくり返し押し続けると総再生残り時間の次に表示されます。

録音スタンバイ状態：
記号/TIME ボタンを押すと録音可能時間が表示されます。

高速録音の制約について

CDからMDへ録音をするとき通常の1/2または1/4の時間で録音することができます。（2倍速/4倍速録音）
高速録音では、著作権保護を目的とした制約があります。

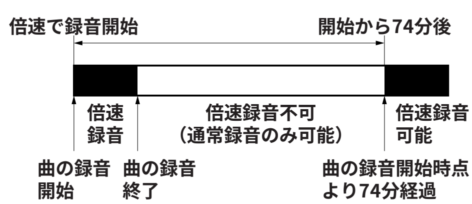
■ 著作権保護を目的とした制約

CDからMDへ一度高速録音をした後、再び同じCDから高速録音するときは、次に録音を始めるまでの、待ち時間が必要になります。

- 同じCDは、1回目の高速録音を開始してから、74分経過した後で2回目の高速録音が開始できます。
- 同じCDから74分以内に2回目の録音をしたい場合は、定速で録音してください。

次のようなときも、74分間は倍速で録音することができません。

- 倍速録音を途中で止めたり、1曲でも倍速録音したCDから、再び録音しようとしたとき
- 20枚のCDから倍速録音した後、21枚目を録音しようとしたとき



ご注意

- 倍速の録音中は、通常の2倍の速度でCDの音が再生されます。
- 倍速の録音中に、音量・音質などを調整することができますが、録音される音声は変わりません。
- 4倍速では音声は再生されません。

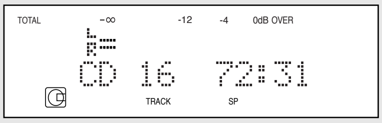
MDのいろいろな録音のしかた

録音レベルを調整して録音する

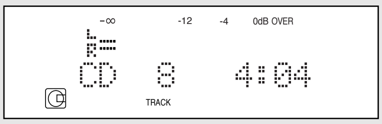
CDやAUXからMDに録音するとき、録音レベルの調整ができます。（チューナーの録音レベルの調整はできません。）

［例］CDから録音レベルを調整して録音するとき

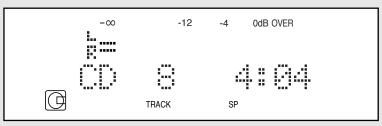
1 **CD■ ボタンを押して、入力を " CD " にする。**



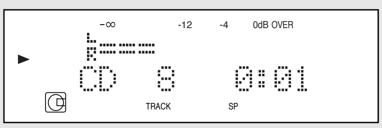
2 **I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、録音したい曲番を選ぶ。**



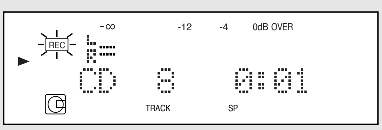
3 **録音モード ボタンを押して、録音モードを選ぶ。**



4 **CD▶/II ボタンを押して、CDを再生する。**

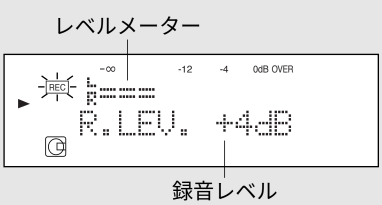


5 **録音 ボタンを押して、録音の一時停止にする。**



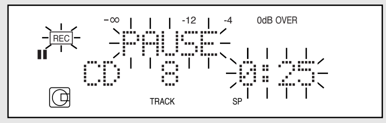
6 **プリセット/グループ ＋/－ ボタンを押して、録音レベルを調整する。**

- 最も大きなレベルで " 0dB " を超えないようにしてください。
- 録音レベルは、－6dB～＋6dBまで2dBステップで調整することができます。

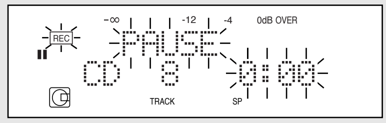


7 **CD▶/II ボタンを押して、CDを一時停止する。**

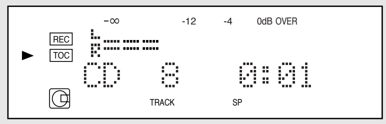
- 録音は一時停止状態のままです。



8 **I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、もう一度録音したい曲番を選ぶ。**



9 **もう一度 CD▶/II ボタンを押して、録音を始める。**



録音を停止するには

MD■ ボタンを押す。

- 録音は停止し、CDは再生を続けます。
- MP3/WMAディスクの場合は一時停止します。

メモ

- この録音レベル調整はワンタッチ録音（☞ 34ページ）時にはできません。
- 録音レベルは、前回調整したレベルを覚えています。
- 録音レベルの設定はAUX、PORTABLE IN、CDそれぞれ可能です。
- MP3/WMAディスクでは、再生しながらの録音レベル調整はできません。

CDの好きな曲を選んで、MDに録音する『プログラム録音』

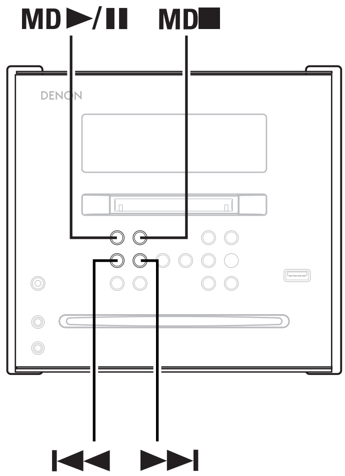
1 **録音用MDを入れる。**

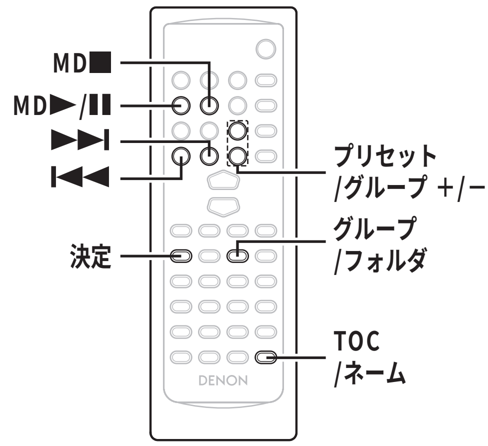
2 **録音したい曲をプログラム再生で登録する。**
(☞ 27ページの操作***1***～***5***)

3 **REC ボタンまたは 録音 ボタンを押す。**

- 録音の一時停止状態になります。

4 **CD▶/II ボタンを押して、録音を始める。**





グループ機能について

- グループ機能とは、MDに収録されている曲をグループ管理する機能です。
- 本機では、MDLP（MD LONG PLAY）フォーマット対応により、通常録音時間の2倍長または4倍長のステレオ録音ができます（MDLP録音)。しかし、従来よりも多くの曲が録音できるようになりましたが、再生するときに曲を見つけるのが大変です。このために録音された曲をグループに分割して管理し、簡単に再生、検索ができるようにしました。
通常再生モードとグループ再生モードを切り替えるには、MD停止時に **グループ/フォルダ** ボタンを押します。
グループモードに入ると“ GP ”が点灯し、グループ番号が表示されます。
- 本機のグループ機能は下記のような操作ができます。

1．グループを作る
・MDディスクに収録されている連続した複数の曲をグループとして登録し、グループを作ります。
・本機でMD1枚に登録できるグループ数は最大99グループです。
・収録後のグループ登録の変更などができます。

2．聞きたいグループを再生する

3．グループ中の曲を変更およびグループを解除する
・グループに登録されている曲を消去、分割、結合および移動できます。
・グループを解除できます。

4．グループのタイトルをつける、変更する
・登録したグループにグループ名をつけることができます。
・登録したグループのグループ名を変更できます。
・本機で入力できるグループ名の文字数は1グループあたり100文字です。

メモ

- **グループ機能を搭載していない機器での編集**
グループ登録したディスクをグループ機能を搭載していない機器で1曲消去、曲の移動などの編集をしないでください。グループとして登録した曲番が編集前と異なり、グループ機能が正しく動作しなくなります。
- **グループ機能を搭載していない機器でのグループ情報の表示**
グループ情報は、実際はディスク名情報の格納部に書かれています。そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスク名を表示させると以下のような表示になりますが、故障ではありません。
0；ディスク名//1-5；グループ名1//6-9；グループ名2//…
- **本機のグループ機能の制限**
本機で扱えるグループは最大99グループです。
グループ名の文字数は1グループあたり100文字です。
この制限を超えたMDディスクを使用した場合、また、曲番登録のないグループはグループとして認識しません。
本機で編集作業をおこなうと、本機の制限を超える情報は消去されます。

グループを作る

［例］ 1曲から15曲までの連続した曲を3グループにする場合

● グループされていない連続した曲

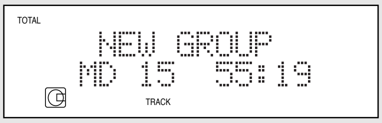
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 →

グループ1	グループ2	グループ3
1 2 3 4 5	6 7 8 9 10	11 12 13 14 15

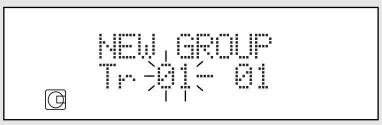
1 **録音済みディスクを入れ、 MD■ ボタンを押す。**

2 **TOC/ネーム ボタンを押す。**

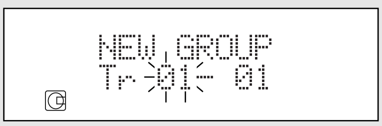
3 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“NEW GROUP”を選択する。**



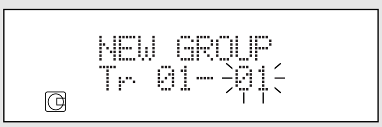
4 **決定 ボタンを押す。**



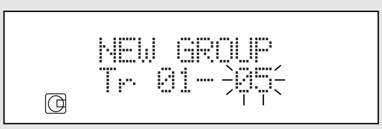
5 **I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、グループ登録したい最初の曲番を選択する。**



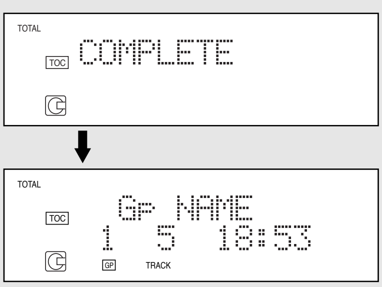
6 **決定 ボタンを押す。**



7 **I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、グループ登録したい最後の曲番を選択する。**



8 **決定 ボタンを押す。**



9 **グループのタイトルを入力する場合には 決定 ボタンを押す。**

● ここで終了する場合には MD■ ボタンを押してください。グループ名を後でつける場合には、41ページの“グループのタイトルを変更する”の操作をおこなってください。

10 **文字を入力する。**
(☞ 49ページ)

11 **決定 ボタンを押す。**

12 **MD■ ボタンを押す。**

● 続けてグループを作る場合には、操作***2***～***11***をくり返してください。

ご注意

● 一度グループに登録された曲は、選択できません。

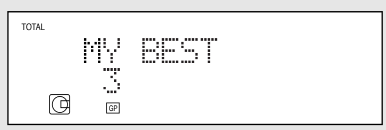
● 下記のような場合には“NEW GROUP”が表示されません。

1. 99グループがすでに登録されている。
2. ディスク名の情報エリアにグループ管理情報を書き込むスペースがない。
3. 全トラックがすでにグループ登録されている。

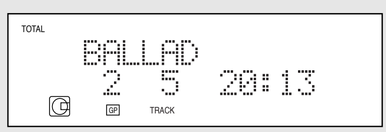
グループを再生する

［例］ グループ2を再生する場合

1 **停止中に グループ/フォルダ ボタンを押す。**

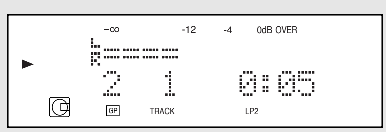


2 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、再生したいグループを選択する。**

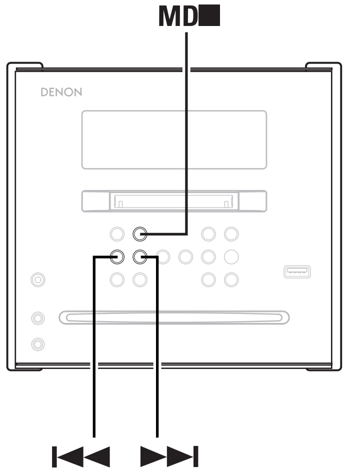


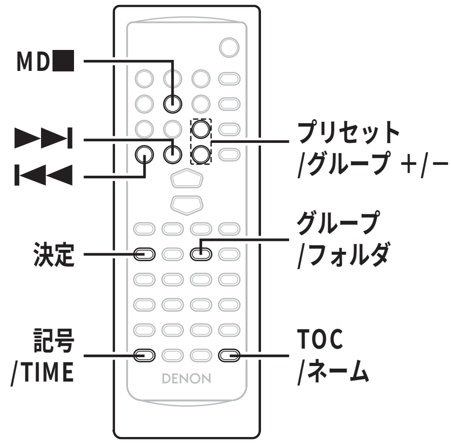
3 **MD►/II ボタンを押す。**

● 選択されたグループの曲が再生され、グループの最後の曲の再生が終わると停止します。



※ 通常再生モードに戻すには、停止中に再度 **グループ/フォルダ** ボタンを押します。





グループの曲を変更する

［例］グループ1（1曲目～5曲目）を2曲目～4曲目に変更する場合

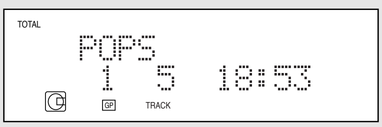
グループ1	→	グループ1
1 2 3 4 5		2 3 4

1 **グループの曲を変更したいディスクを入れ、MD■ ボタンを押す。**

2 **グループ/フォルダ ボタンを押す。**

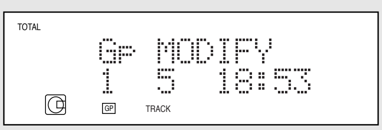


3 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、変更したいグループを選択する。**

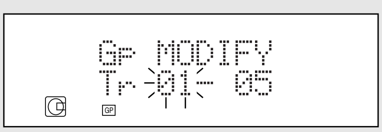


4 **TOC/ネーム ボタンを押す。**

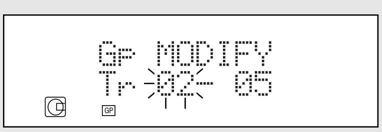
5 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“Gp MODIFY”（グループ モデファイ）を選択する。**



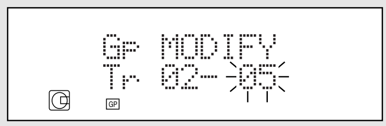
6 **決定 ボタンを押す。**



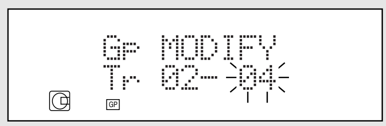
7 **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、変更したい最初の曲番を選択する。**



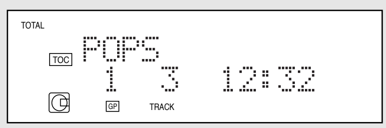
8 **決定 ボタンを押す。**



9 **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、変更したい最後の曲番を選択する。**



10 **決定 ボタンを押す。**



11 **MD■ ボタンを押す。**

※ 停止中に **記号/TIME** ボタンを押すと選択されているグループの内容を確認することができます。

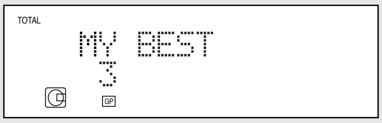


グループのタイトルを変更する

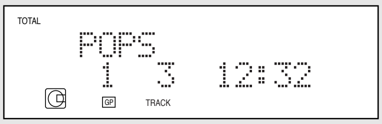
［例］グループ1のタイトルを変更する場合

1 **グループ名を変更したいディスクを入れ、MD■ ボタンを押す。**

2 **グループ/フォルダ ボタンを押す。**

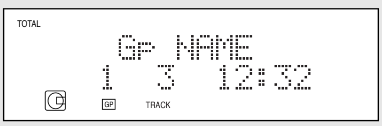


3 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、変更したいグループを選択する。**

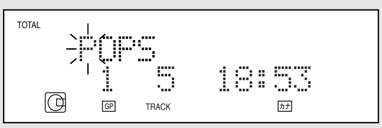


4 **TOC/ネーム ボタンを押す。**

5 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“Gp NAME（グループ ネーム）”を選択する。**



6 **決定 ボタンを押す。**



7 **文字を入力する。**（☞ 49ページ）

8 **決定 ボタンを押す。**



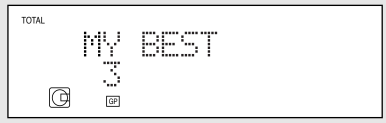
9 **MD■ ボタンを押す。**

グループのタイトルを消去する

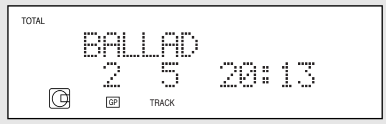
［例］グループ2のタイトルを消去する場合

1 **グループのタイトルを消去したいディスクを入れ、 MD■ ボタンを押す。**

2 **グループ/フォルダ ボタンを押す。**

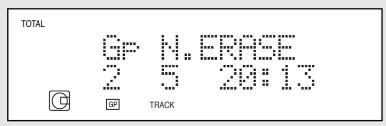


3 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、タイトルを消去したいグループを選択する。**

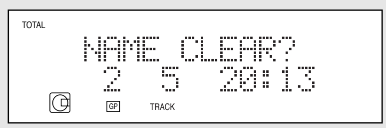


4 **TOC/ネーム ボタンを押す。**

5 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“Gp N.ERASE（グループ ネーム イレース）”を選択する。**



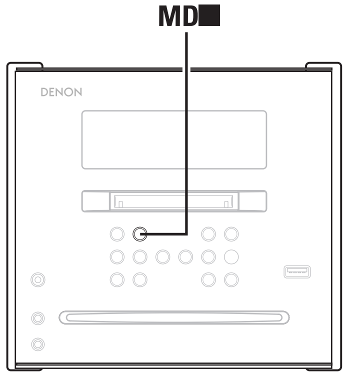
6 **決定 ボタンを押す。**

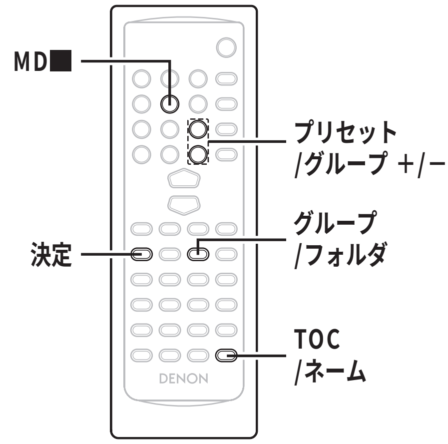


7 **決定 ボタンを押す。**



8 **MD■ ボタンを押す。**





グループを解除する

［例］グループ2をグループ解除する場合

1 **グループを解除したいディスクを入れ、MD■ ボタンを押す。**

2 **グループ/フォルダ ボタンを押す。**

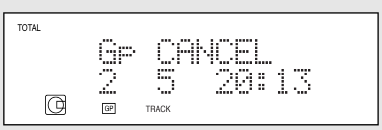


3 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、解除したいグループを選択する。**

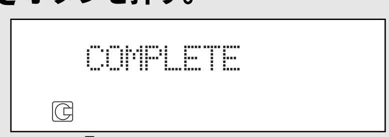


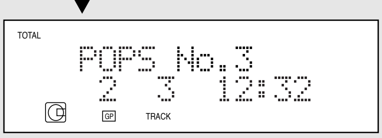
4 **TOC/ネーム をボタンを押す。**

5 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“GP CANCEL”（グループ キャンセル）を選択する。**



6 **決定 ボタンを押す。**





7 **MD■ ボタンを押す。**

グループを消去する

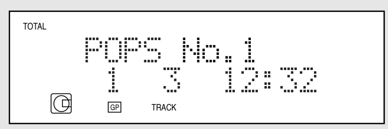
［例］グループ1を消去する場合

1 **グループを消去したいディスクを入れ、MD■ ボタンを押す。**

2 **グループ/フォルダ ボタンを押す。**

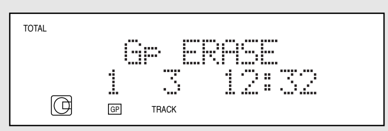


3 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、消去したいグループを選択する。**

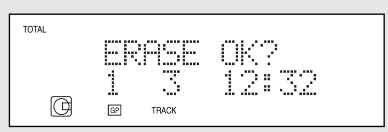


4 **TOC/ネーム ボタンを押す。**

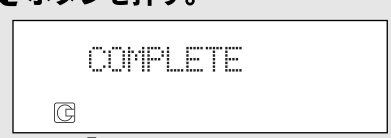
5 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“GP ERASE”（グループ イレース）を選択する。**

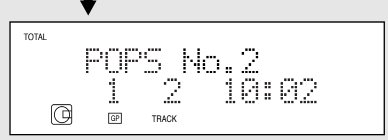


6 **決定 ボタンを押す。**



7 **決定 ボタンを押す。**





8 **MD■ ボタンを押す。**

※ 曲を消すと元には戻せません。消してよいかどうかをよく確かめてから操作してください。

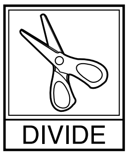
MDの編集のしかた

編集の前に

グループモード中は、グループ内の編集になります。

編集機能（EDIT）のいろいろ

曲の分割



曲を分ける

1つの曲を希望の位置で2つの曲に分けることができます。
(☞P45ページ)

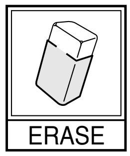
●曲Cと曲Dが曲番3の中にある

曲番	1	2	3	4
	曲A	曲B	曲C+曲D	曲E

●曲番3を分割し、曲C、曲Dにする

曲番	1	2	3	4	5
	曲A	曲B	曲C	曲D	曲E

曲の消去



曲を消す

一曲消去（☞P46ページ）
全曲消去（☞P46ページ）
プログラム消去（☞P47ページ）

曲番	1	2	3	4	5
	曲A	曲B	曲C	曲D	曲E

●曲Bを消去

曲番	1	2	3	4	
	曲A	曲C	曲D	曲E	

曲の結合



曲をつなぐ

連続した2つの曲を1つにまとめることができます。（☞P45ページ）

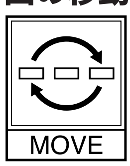
●曲Cが、曲番3と曲番4に分かれている

曲番	1	2	3	4	5
	曲A	曲B	曲C	曲C	曲D

●曲番3と曲番4を結合し、曲Cを１つの曲番にする

曲番	1	2	3	4
	曲A	曲B	曲C	曲D

曲の移動



曲を移動する

選んだ曲を希望の位置へ移動することができます。
(☞P47ページ)

●曲Cが曲番3になっている

曲番	1	2	3	4	5
	曲A	曲B	曲C	曲D	曲E

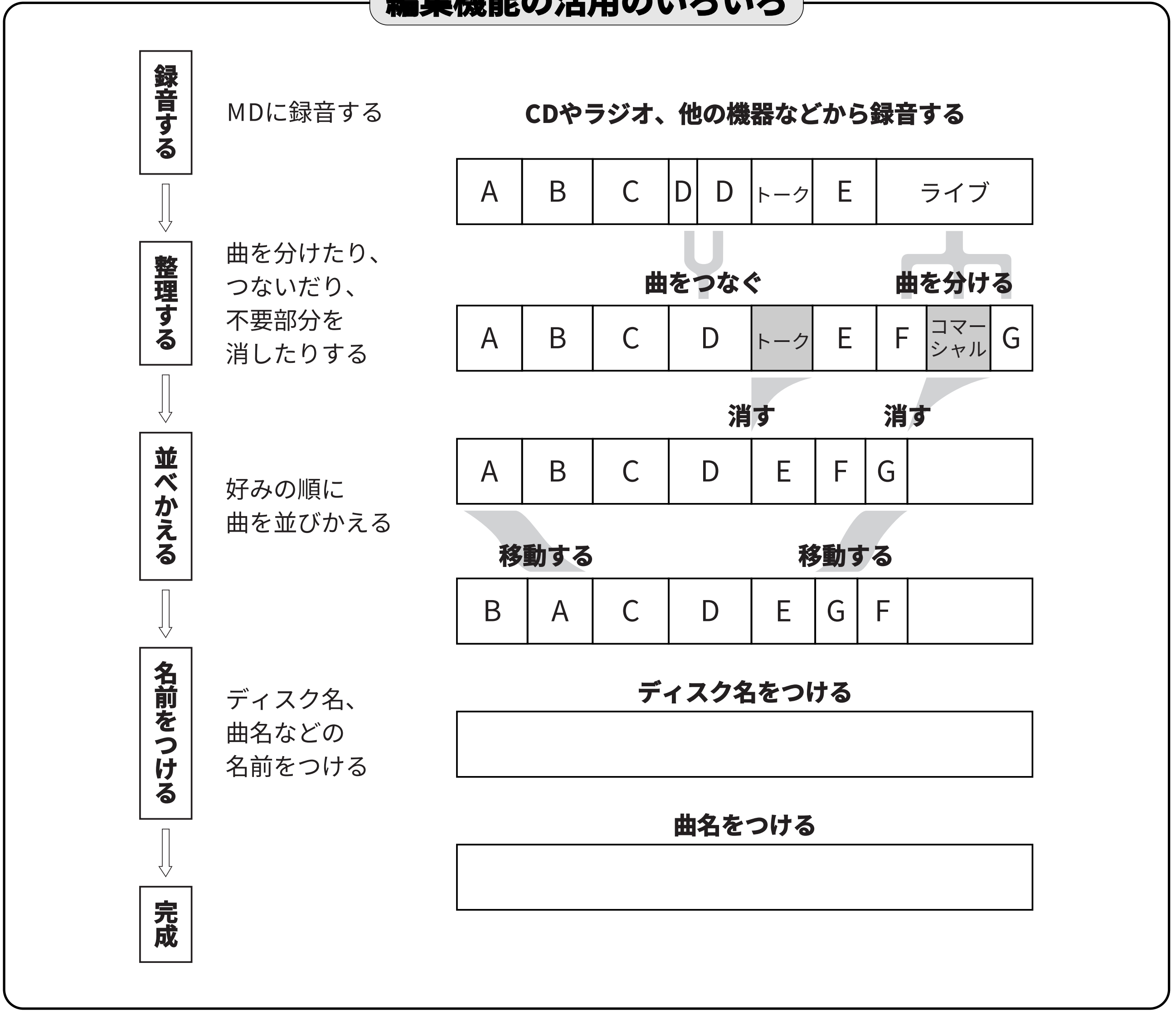
●曲Cを曲番1にする

曲番	1	2	3	4	5
	曲C	曲A	曲B	曲D	曲E

ディスク名や曲名をつける

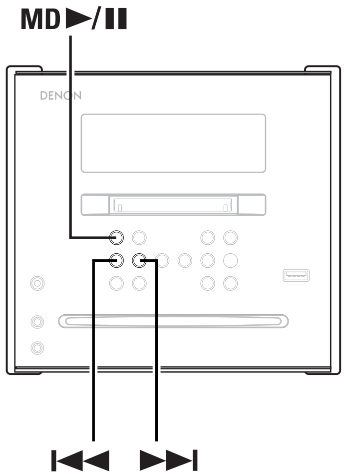
録音したMDには、お好みのディスク名や曲名をつけることができます。(☞ 48、49ページ)

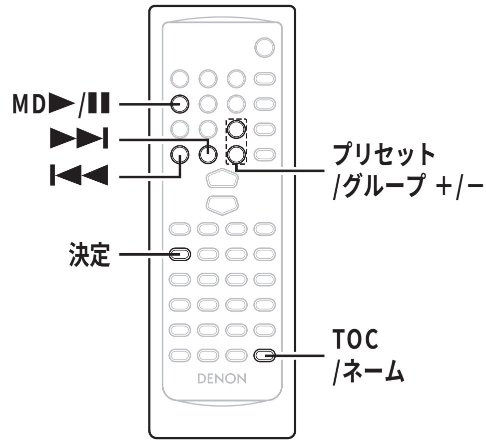
編集機能の活用のいろいろ



メモ

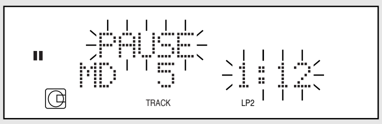
- この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正常に表示されないことがあります。
- 他の機器でカタカナを入力したとき、この製品では正常に表示されないことがあります。





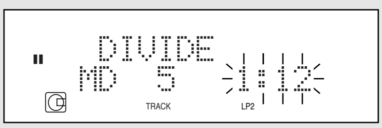
曲を分ける（Divide）

1 **再生中に曲を分けたいところで MD►/❚❚ ボタンを押して、一時停止状態にする。**



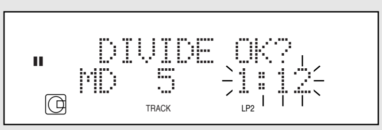
2 **TOC/ネーム ボタンを押して、編集メニューにする。**

3 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“DIVIDE（デバイド）”を選ぶ。**



4 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

- 中止するときは、 **TOC/ネーム** ボタンを押してください。



5 **もう一度 決定 ボタンを押す。**

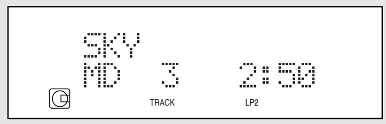
- 曲が分けられ、後ろの曲の頭で停止します。



曲をつなぐ（Combine）

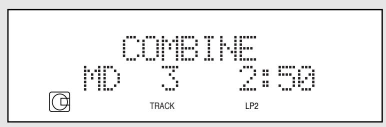
1 **停止中に |◄◄ ボタンまたは ►►| ボタンを押して、つなぐ後ろの曲を選ぶ。**

- 後ろの曲の再生中に **MD►/❚❚** ボタンを押して、一時停止状態にしてもできます。



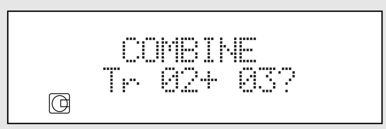
2 **TOC/ネーム ボタンを押して、編集メニューにする。**

3 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“COMBINE（コンバイン）”を選ぶ。**

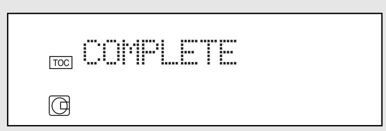


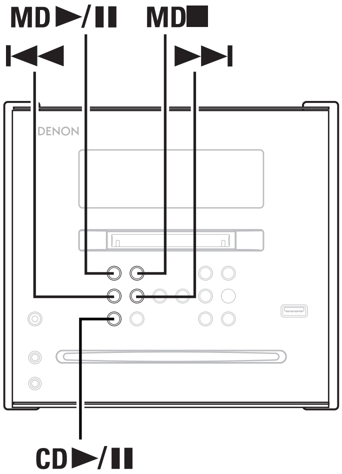
4 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

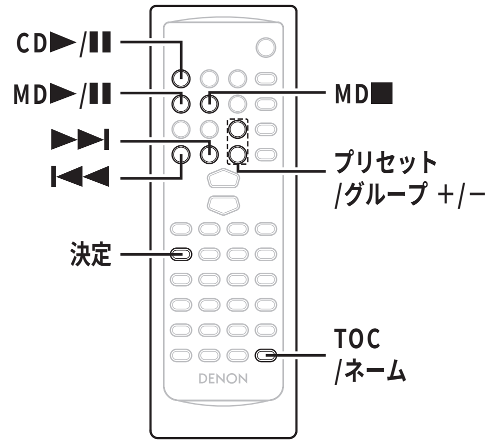
- 中止するときは、 **TOC/ネーム** ボタンを押してください。



5 **もう一度 決定 ボタンを押す。**





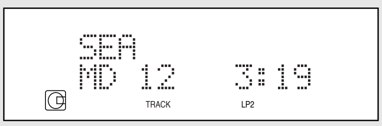


曲を消す（Erase）

1曲ずつ消す

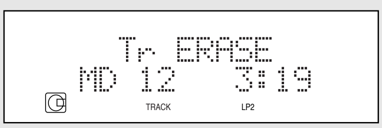
1 **停止中に I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、消す曲を選ぶ。**

- 消したい曲の再生中に **MD▶/II** ボタンを押して、一時停止状態にしてもできます。



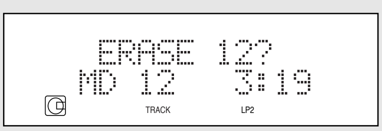
2 **TOC/ネーム ボタンを押して、編集メニューにする。**

3 **10秒以内に プリセット/グループ +/– ボタンを押して、“Tr ERASE（トラック イレース）”を選ぶ。**



4 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

- 中止するときは、 **TOC/ネーム** ボタンを押してください。



5 **もう一度 決定 ボタンを押す。**



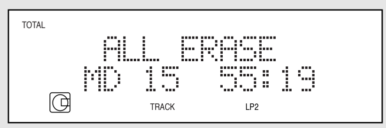
※ 曲を消すと元には戻せません。消してよいかどうかをよく確かめてから操作してください。

すべての曲を消す（All erase）

1 **MD■ ボタンを押す。**

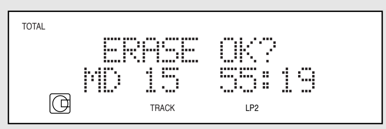
2 **TOC/ネーム ボタンを押して、編集メニューにする。**

3 **10秒以内に プリセット/グループ +/– ボタンを押して、“ALL ERASE（オール イレース）”を選択する。**



4 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

- 中止するときは、 **TOC/ネーム** ボタンを押してください。



5 **もう一度 決定 ボタンを押す。**

- すべての曲が消えます。





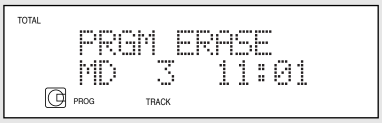
※ 曲を消すと元には戻せません。消してよいかどうかをよく確かめてから操作してください。

数曲まとめて消す（Program erase）

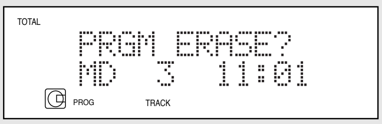
1 **消したい曲をプログラム選曲で選ぶ。**
（☞ 27ページ）

2 **TOC/ネーム ボタンを押して、編集メニューにする。**

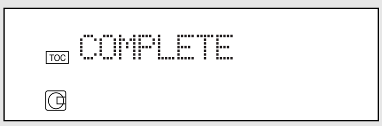
3 **10秒以内に プリセット/グループ ＋/－ ボタンを押して、“PRGM（プログラム） ERASE（イレース）”を選ぶ。**



4 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**
- 中止するときは、 **TOC/ネーム** ボタンを押してください。



5 **もう一度 決定 ボタンを押す。**
- プログラムした曲が消えます。

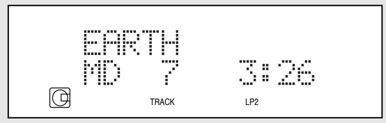


ご注意

- グループ登録をしたディスクでは、本項の“数曲まとめて消す”はできません。
  46ページの“曲を消す（Erase）”または42ページの“グループを消去する”をご利用ください。

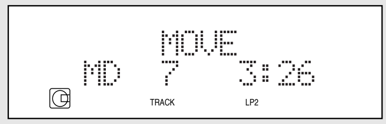
曲を移動する（Move）

1 **停止中に ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、移動する曲を選ぶ。**
- 移動したい曲の再生中に **MD▶/❚❚** ボタンを押して、一時停止状態にしてもできます。

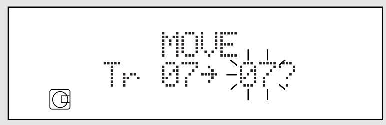


2 **TOC/ネーム ボタンを押して、編集メニューにする。**

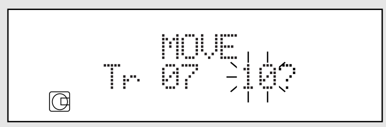
3 **10秒以内に プリセット/グループ ＋/－ ボタンを押して、“MOVE（ムーブ）”を選ぶ。**



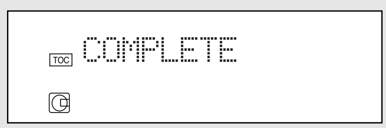
4 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

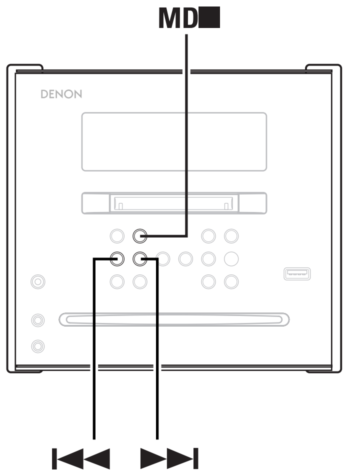


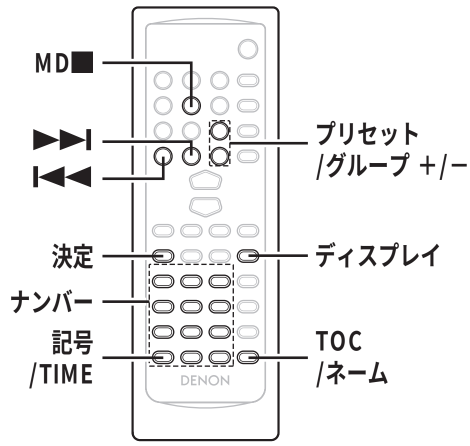
5 **⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、移動先を選ぶ。**
- 中止するときは、 **TOC/ネーム** ボタンを押してください。



6 **もう一度 決定 ボタンを押す。**





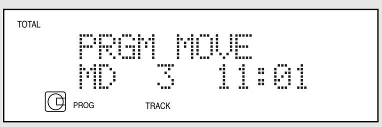


曲を並べかえる（Program move）

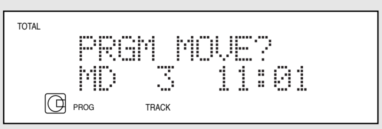
1 **曲を並べかえたい順番にプログラム選曲する。**（☞ 27ページの操作*1*～*5*）

2 **TOC/ネーム ボタンを押して、編集メニューにする。**

3 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“PRGM MOVE（プログラム ムーブ）”を選択する。**



4 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**
- 中止するときは、 **TOC/ネーム** ボタンを押してください。



5 **もう一度 決定 ボタンを押す。**
- 曲が並べかえられます。
- プログラムした曲以外の曲は、プログラムした曲の後ろに並べかえられます。



メモ
- 同じ曲を2回以上プログラムしているときは、最初にプログラムした内容が優先されます。
- グループ登録をしたディスクでは、本項の“曲を並べかえる（Program move）”はできません。47ページの“曲を移動する”をご利用ください。

ディスク名をつける

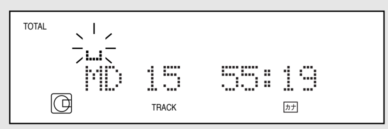
1 **MD■ ボタンを押す。**

2 **TOC/ネーム ボタンを押して、編集メニューにする。**

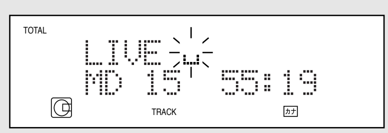
3 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“DISC NAME（ディスク ネーム）”を選ぶ。**



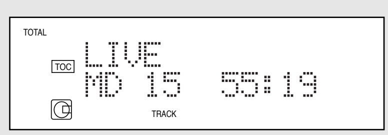
4 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**
- 中止するときは、 **TOC/ネーム** ボタンを押してください。



5 **ナンバー ボタン“1”～“>10”、 記号/TIME ボタン、 ディスプレイ ボタンを使って、文字を入力する。**
- カタカナと英数字の切り替えをするときは、**ディスプレイ** ボタンを押してください。また、アルファベットの大文字と小文字の切り替えをするときは、 **ナンバー** ボタン“**>10**”を押してください。
- カーソルは、 **プリセット/グループ +/−** ボタンを使って移動させることができます。



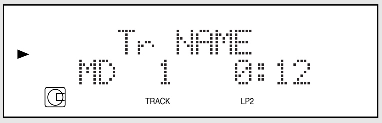
6 **入力が終わったら、 決定 ボタンを押す。**
- ディスク名が記録されます。



曲名をつける

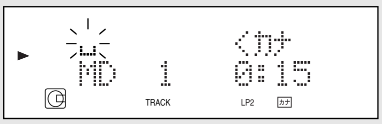
1 **名前をつける曲の再生中（または一時停止中）に TOC/ネーム ボタンを押して、編集メニューにする。**

- 停止中に ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して名前をつける曲を選び、 **TOC/ネーム** ボタンを押し、10秒以内に **プリセット/グループ +/−** ボタンを押して、“Tr NAME（トラック ネーム）”を選ぶこともできます。



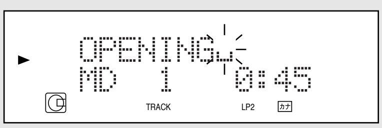
2 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

- 文字の入力画面になり、聞いている曲がくり返し再生されます。
- 中止するときは、**TOC/ネーム** ボタンを押してください。



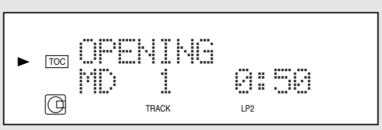
3 **ナンバー ボタン“1”〜“>10”、 記号/TIME ボタン、 ディスプレイ ボタンを使って、文字を入力する。**

- カタカナと英数字の切り替えをするときは、**ディスプレイ** ボタンを押してください。また、アルファベットの大文字と小文字の切り替えをするときは、 **ナンバー** ボタン“**>10**”を押してください。
- カーソルは、 **プリセット/グループ +/−** ボタンを使って移動させることができます。



4 **入力が終わったら、 決定 ボタンを押す。**

- 曲名が記録され、通常の再生に戻ります。

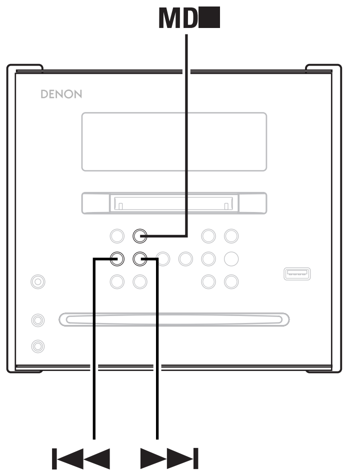


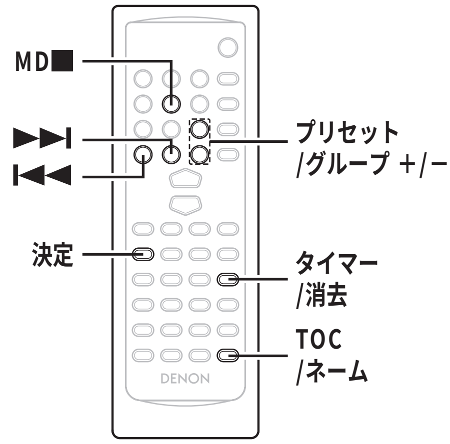
入力できる文字の種類について

ボタン	カタカナ入力モード ⇔ ディスプレイボタン ⇔ 英数入力モード		
		大文字	小文字
ア 1	アイウエオァィゥェォ	1	1
カ ABC 2	カキクケコ	ＡＢＣ2	ａｂｃ2
サ DEF 3	サシスセソ	ＤＥＦ3	ｄｅｆ3
タ GHI 4	タチツテトッ	ＧＨＩ4	ｇｈｉ4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	ＪＫＬ5	ｊｋｌ5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	ＭＮＯ6	ｍｎｏ6
マP QRS 7	マミムメモ	ＰＱＲＳ7	ｐｑｒｓ7
ヤ TUV 8	ヤユヨャュョ	ＴＵＶ8	ｔｕｖ8
ラW XYZ 9	ラリルレロ	ＷＸＹＺ9	ｗｘｙｚ9
ワヲン 0/10	ワヲン	0 スペース	0 スペース
小文字 ゛゜ >10	゛ ゜ スペース	アルファベットの大文字/小文字の切り替え（数字の大きさは変わりません）	
記号 TIME	−．，／：？＆（）！”＃＄％＊；＜＝＞＠＿｀＋’［¥］｛｜｝〜スペース		

メモ

- ディスク名や各曲名は100文字まで入力することができます。100文字を超えると“NAME FULL”が表示されます。
- 1枚のMDには約1,700文字まで入力することができます。約1,700文字を超えると“TOC FULL”が表示されます。但し、この製品で2倍・4倍長時間録音（LP2・LP4）した曲にはその情報が記録されるため、1,700文字以下でも“TOC FULL 1”が表示されることがあります。



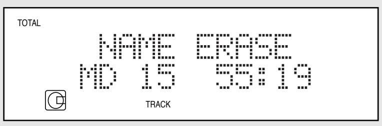


ディスク名を消去する

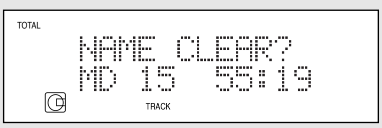
1 **MD■ ボタンを押す。**

2 **TOC/ネーム ボタンを押して、編集メニューにする。**

3 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“NAME ERASE（ネーム イレース）”を選ぶ。**

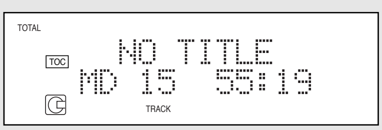


4 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**



5 **決定 ボタンを押す。**

- ディスク名が消去されます。
- 中止するときは、 **TOC/ネーム** ボタンを押してください。

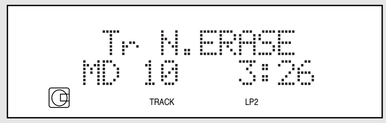


曲名を消去する

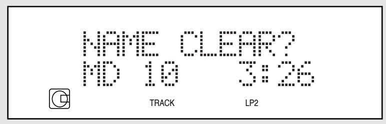
1 **停止中に ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを押して、曲名を消去したい曲を選ぶ。**

2 **TOC/ネーム ボタンを押して、編集メニューにする。**

3 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“Tr N.ERASE（トラックネーム イレース）”を選ぶ。**

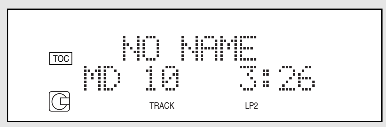


4 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**



5 **決定 ボタンを押す。**

- 曲名が消去されます。
- 中止するときは、 **TOC/ネーム** ボタンを押してください。



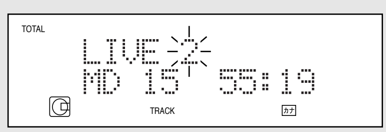
文字を消去する・修正する

［例］LIVE 2 の“ 2 ”を“ A ”に直すとき

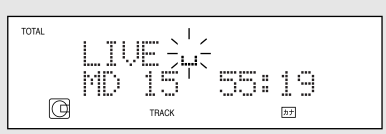
1 **文字の入力画面にする。**

- ディスク名を修正するとき：
  （☞ 48ページのディスク名をつける操作***1***～***4***）
- 曲名を修正するとき：
  （☞ 49ページの曲名をつける操作***1***、***2***）

2 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、消去したり、修正したい文字を点滅させる。**



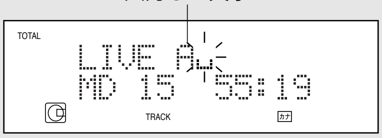
3 **タイマー/消去 ボタンを押して、不要な文字を消去する。**



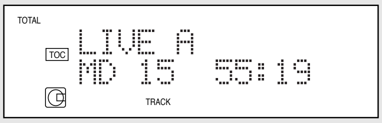
4 **正しい文字を入力する。**

- ディスク名を修正するとき：
  （☞ 48ページのディスク名をつける操作***5***）
- 曲名を修正するとき：
  （☞ 49ページの曲名をつける操作***3***）

入力した文字



5 **文字の消去・修正が終わったら、決定 ボタンを押す。**



文字を追加する

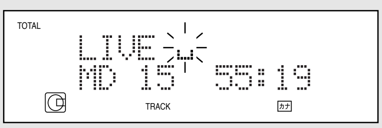
[例] “ LIVE ” を “ LIVE A ” にするとき

1 **文字の入力画面にする。**

- ディスク名を修正するとき：
  （☞ 48ページのディスク名をつける操作***1***～***4***）
- 曲名を修正するとき：
  （☞ 49ページの曲名をつける操作***1***、***2***）

2 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、追加したい位置の文字を点滅させる。**

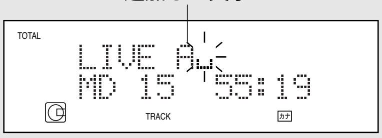
- 中止するときは、**TOC/ネーム** ボタンを押してください。



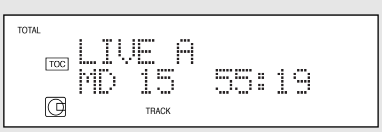
3 **追加したい文字を入力する。**

- ディスク名を入力するとき：
  （☞ 48ページのディスク名をつける操作***5***）
- 曲名を入力するとき：
  （☞ 49ページの曲名をつける操作***1***、***2***）
- 元の文字が1文字ずつ右に移動します。

追加した文字



4 **文字の追加が終わったら、 決定 ボタンを押す。**



タイマーの使いかた

タイマーの種類と楽しみかた

- **タイマー再生（ONCE PLAY）**：
  希望の時間に電源をON/OFFし、MD・CD・ラジオ放送・外部入力の音声を聞くことができます。
- **タイマー録音（ONCE REC）**：
  希望の時間にラジオ放送や外部入力の音声をMDに録音することができます。
- **エブリデイタイマー（EVERYDAY）**：
  毎日希望の時間に電源をON/OFFし、MD・CD・ラジオ放送・外部入力の音声を聞くことができます。
- **スリープタイマー（SLEEP）**：
  希望の時間に電源をOFFにすることができます。
- **スリープタイマーとタイマーの組み合わせ**：
  スリープタイマーとタイマー再生/録音の組み合わせで、いろいろな楽しみかたができます。

タイマーを使う前に

時計を合わせる

時計の時刻を合わせていないと、タイマー操作をすることができません。（☞ 18ページ）

再生や録音の準備をする

【タイマー再生の準備】

次のような事前準備が必要です。

- **ラジオ放送を聞くとき**：
  希望の放送局をプリセットに登録する。
  （☞ 23ページ）
- **CDを聞くとき**：CDを装着する。
- **MDを聞くとき**：再生するMDを挿入する。

【タイマー録音の準備】

次のような事前準備が必要です。

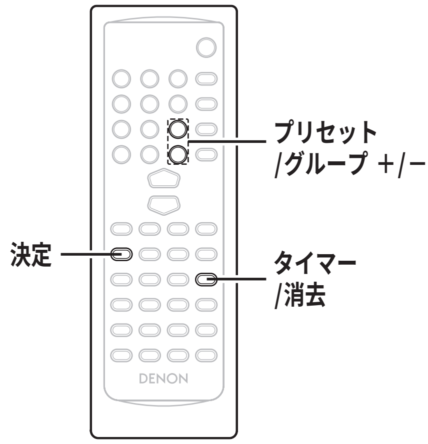
- **ラジオ放送を録音するとき**：
  希望の放送局を受信する。
- **MDに録音するとき**：録音するMDを挿入する。

【タイマー設定のおおまかな手順】

登録モードの設定
↓
開始時刻や終了時刻の設定
↓
タイマー機器の設定

メモ

- タイマー再生、タイマー録音およびエブリデイタイマーを同時に設定することはできません。3種類のうち1つしか動作しません。
- 他の機器は、この製品のタイマー設定では操作することはできません。
- ワンタッチ録音中はタイマーを設定することはできません。



タイマーを設定する

［例］プリセット番号“3”のラジオ放送“FM 82.50MHz”をPM5：10〜PM6：10まで登録するとき

1 **電源を入れてから、タイマー/消去 ボタンを押す。**

- “TIMER SET”（タイマー セット）が表示されないときは、時計を合わせてください。時計を合わせていないと、タイマーを設定することはできません。(☞ 18ページ)

2 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“TIMER SET”（タイマー セット）を選ぶ。**

3 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

4 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、登録モードを選ぶ。**

タイマー再生をするとき

“ONCE PLAY”（ワンス プレイ）を選ぶ。

タイマー録音をするとき

“ONCE REC”（ワンス レコード）を選ぶ。

毎日同じ時間にタイマー再生をするとき

“EVERYDAY”（エブリデイ）を選ぶ。

5 **決定 ボタンを押す。**

ON AM12:00

6 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、開始時刻の“時”を合わせ、 決定 ボタンを押す。**

ON PM 5:00

7 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、開始時刻の“分”を合わせ、 決定 ボタンを押す。**

- **プリセット/グループ +/−** ボタンを押し続けると、5分ごとに早送りされます。
- 開始時刻の“分”を設定すると、“時”が1時間増えて、終了時刻に切り替わります。

ON PM 5:10

8 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、終了時刻の“時”を合わせ、 決定 ボタンを押す。**

OFF PM 6:10

9 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、終了時刻の“分”を合わせ、 決定 ボタンを押す。**

OFF PM 6:10

10 **タイマー再生をするとき**

毎日同じ時間にタイマー再生をするとき

プリセット/グループ +/− ボタンを押して、聞きたい入力を選び、 決定 ボタンを押す。

TUNER

- **プリセット/グループ +/−** ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。

CD→TUNER→PORTABLE IN→AUX→USB→MD

タイマー録音をするとき

プリセット/グループ +/− ボタンを押して、録音したい入力を選び、決定 ボタンを押す。

- **プリセット/グループ +/−** ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。

TUNER

TUNER→PORTABLE IN→AUX

11 **【操作10で“TUNER（チューナー）”を選んだとき】**
プリセット/グループ +/− ボタンを押して、希望の放送局を選び、 決定 ボタンを押す。

- 希望の放送局が登録されていないときは、放送局を登録した後、もう一度操作**1**からやり直してください。（☞ 23ページ）

P 3 82.5 STEREO FM MHz

12 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、音量を設定し、 決定 ボタンを押す。**

- 音量をあまり大きくしないように注意してください。

VOLUME 12

↓

登録された内容が順に表示されます。この後自動的に電源が切れて、タイマー再生、タイマー録音、またはエブリデイタイマーの待機状態になります。

AM 12:00 PLAY TIMER

（タイマー再生時）

AM 12:00 REC TIMER

（タイマー録音時）

AM 12:00 PLAY TIMER

（エブリデイタイマー時）

↓

タイマー開始時刻になると、タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
タイマー終了時刻になると、電源が自動的に切れます。

メモ

- タイマーの待機状態のときに電源が入っていた場合、タイマーは動作しません。タイマー開始時間までにスタンバイ状態にしてください。
- 電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、タイマーの設定は消えてしまいます。

同じ内容で再度タイマーを使うには

タイマーを解除した場合でも、タイマーの内容は、一度設定すると覚えていますので、内容を変えないときは次の操作で再設定できます。

1 **タイマー/消去 ボタンを押す。**

- “STANDBY（スタンバイ）” が表示されます。
“STANDBY（スタンバイ）” が表示されないときは、時計の設定が消えていますので、時計を合わせて、タイマー設定をやり直してください。

STANDBY

2 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

- 登録された内容が順に表示されます。この後自動的に電源が切れて、タイマー再生、タイマー録音またはエブリデイタイマーの待機状態になります。

タイマー設定の内容を確認するには

1 **タイマー再生、タイマー録音またはエブリデイタイマーの待機状態のときに タイマー/消去 ボタンを押す。**

CANCEL PLAY TIMER

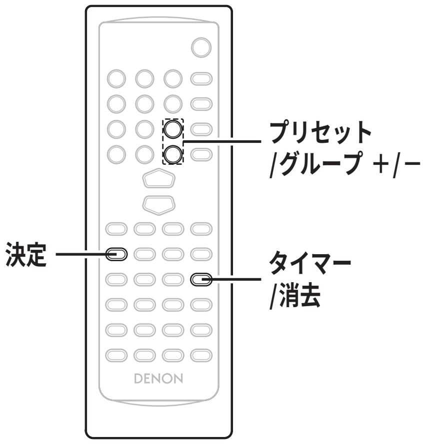
2 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“TIMER CALL（タイマー コール）” を選ぶ。**

TIMER CALL

3 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

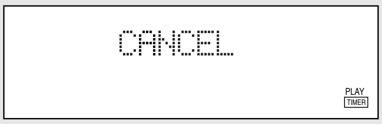
- 設定した内容が順に表示された後、元の表示に戻ります。

AM 12:00 PLAY TIMER



タイマー動作を解除するには

1 **タイマー/消去 ボタンを押す。**



2 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、解除する内容を選ぶ。**

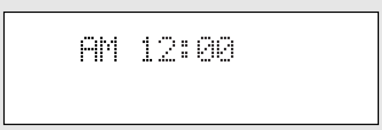
CANCEL（キャンセル）：
設定したタイマー再生を解除する

ONCE CANCEL（ワンス キャンセル）：
エブリデイタイマーで次回のタイマー再生のみ解除する（タイマー設定は継続）

ALL CANCEL（オール キャンセル）：
設定したエブリデイタイマーを解除する

3 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

- タイマー動作が解除されます。
（設定した内容は消えません。）
- タイマー開始時間に電源が入っている場合もタイマー動作はしません。



タイマー設定を変更するには

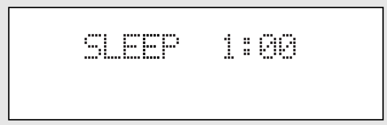
- タイマー動作を解除した後、タイマー設定（☞52ページ）の操作**1**からやり直してください。

スリープタイマーを設定する

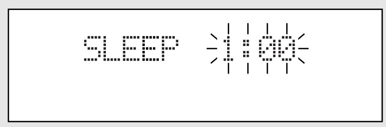
電源の切れる時間を1分間隔で5分まで、5分間隔で最大2時間まで予約することができます。

1 **聞きたい音楽の再生中またはラジオ受信中に、 タイマー/消去 ボタンを押す。**

2 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、"SLEEP（スリープ）"を選ぶ。**



3 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**



4 **プリセット/グループ +/− ボタンを押して、スリープタイマー時間を設定する。**



5 **決定 ボタンを押す。**

- "SLEEP（スリープ）"が点灯し、スリープタイマー動作が始まります。

メモ

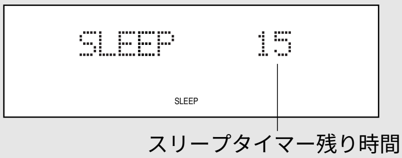
- スリープタイマー終了時刻になると、再生が終わり、電源が切れます。
- 終了1分前になると、音量が徐々に小さくなります。このとき、音量を変えることはできません。

スリープタイマー中に残り時間を確認するには

1 **スリープタイマー動作中に タイマー/消去 ボタンを押す。**

2 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“SLEEP”を選ぶ。**

- 約10秒後に元の表示に戻ります。
- スリープタイマー残り時間が表示されているとき **決定** ボタンを押すと、時間を変更することができます。（☞ 54ページの操作***4***、***5***）

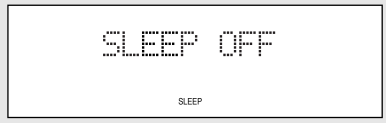


スリープタイマーを解除するには

電源を切ると、スリープタイマーは解除されます。電源を切らずにスリープタイマーだけを解除したいときは、次の操作で解除することもできます。

1 **スリープタイマー動作中に、 タイマー/消去 ボタンを押す。**

2 **10秒以内に プリセット/グループ +/− ボタンを押して、“SLEEP OFF”を選ぶ。**



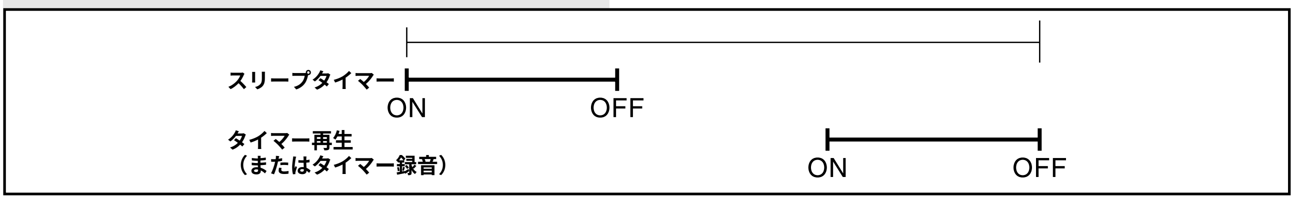
3 **10秒以内に 決定 ボタンを押す。**

- スリープタイマーが解除されます。（“SLEEP”消灯）

スリープタイマーとタイマーを組み合わせて使う

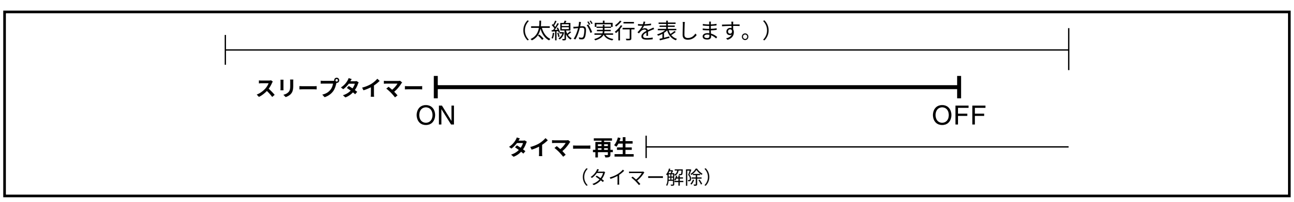
1 **スリープタイマーを設定する。**
（☞ 54ページの操作***1***～***5***）

2 **タイマー再生またはタイマー録音を設定する。**（☞ 52、53ページの操作***1***～***12***）

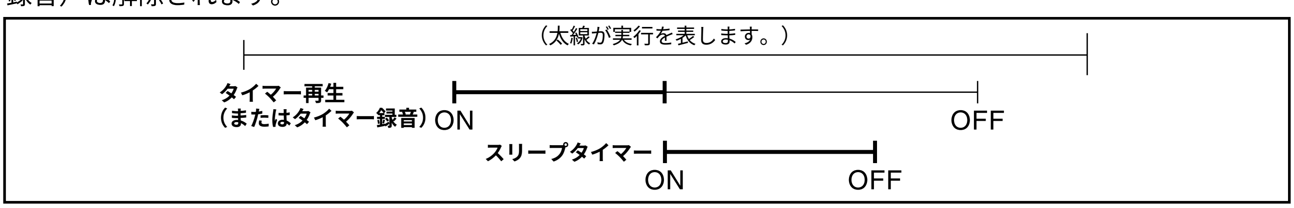


スリープタイマーとタイマーの優先順位について

スリープタイマーがタイマー再生（またはタイマー録音）より優先されます。
タイマー開始時間になると、タイマーは解除されます。



タイマー再生（またはタイマー録音）中にスリープタイマーを設定すると、タイマー再生（またはタイマー録音）は解除されます。



その他

MDの規格上の制約について

MDの規格は、カセットデッキなどの従来の録音方式と異なる方式でおこなわれます。そのため、いくつかの規格上の制約があります。次のような現象が出ても故障ではありませんので、ご了承ください。

曲数の制約

- 何も録音されていないMDやディスク名だけで何も録音されていないMDに1曲目から順次録音した場合は、最大255曲まで録音できます。しかし、編集を多く繰り返したりすると255曲まで録音できなくなることがあります。
- デジタル録音のとき、エンファシス情報などの入切が多いと曲の区切りと同じ扱い（曲番は変わらない）になり、録音時間や曲数に関わらず録音できなくなることがあります。

録音機能の制約

- MDの最大録音時間に達しなくても、曲数が255になるとこれ以上録音できません。
- 録音は、約2秒単位でおこなわれます。それに満たない部分でも約2秒間分のディスクスペースを使用しますので、実際に録音できる時間は短くなります。
- MDに傷があるとその部分は録音できませんので、その分の時間が減ります。
- CDをデジタル録音するとき、CDの録音内容により数秒程度の無音部ができることがあり、曲数がCDと異なることがあります。
- 短い曲を消去してもMDの残り時間が増えないことがあります。これはMDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分を無視するためです。

編集機能の制約

- 編集をおこなってできた短い曲を結合できない場合があります。
- CDから録音した曲（デジタル録音）とラジオ放送から録音した曲（アナログ録音）をつなぐことはできません。
- 録音モード（標準録音（SP）、2倍長時間録音（LP2）、4倍長時間録音（LP4））の異なる曲をつなぐことはできません。
- 録音や編集を繰り返したMDでは、マニュアルサーチ中に音が途切れることがあります。

故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■各接続は正しいですか
■取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

	現　象	原　因	処　置	関連ページ
共通部	電源が入らない。	●電源プラグがコンセントから外れている。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。	15
	スピーカーから音が出ない。	●音量を最小にしている。 ●ヘッドホンが差し込まれている。	●適当な音量にしてください。 ●ヘッドホンを外してください。	24 22
	リモコンが動作しない。	●乾電池が正しく入っていない。 ●乾電池が消耗している。	●乾電池を正しく入れ直してください。 ●新しい乾電池に入れ替えてください。	14 14
チューナー部	FM放送に“ザー”という音が入る。	●アンテナの方向が悪い。 ●放送局の電波が弱い。	●アンテナの方向を変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	16 16
	AM放送に“シー”や“ザー”という音が入る。	●テレビなどから雑音が入る。 ●放送局の干渉音が聞こえる。	●テレビを消してください。 ●AM用ループアンテナの向きを変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	ー 16 16
	AM放送に“ブーン”という雑音（ハム）が入る。	●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受ける。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	ー
CDプレーヤー部	操作ボタンを押しても、動作しない。	●CDの裏表を間違えている。	●CDを入れ直してください。	19
	再生音が途切れたり、途中で止まってしまう。	●CDにほこりや指紋、つばなどが付いている。 ●CDに傷がある。 ●振動の多い、不安定な場所に置いてある。	●CDをクリーニングしてください。 ●傷のないCDと交換してください。 ●振動の少ない安定した場所に置き換えてください。	8 ー ー
	再生音に“ブーン”という音が混じる。	●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受ける。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	ー
	MP3/WMAディスクを再生中に正しい表示を行わない。	●ファイル名、タイトル名、アーティスト名、アルバム名に日本語が含まれている。	●日本語の表示には対応していません。（故障ではありません。）	ー
MDレコーダー部	操作できない。	●MDが入っていない。 ●MDが損傷または汚れている。	●MDを入れてください。 ●他のMDと取り替えてください。	21 ー
	再生できない。	●MDに録音されていない。（“BLANK MD”が表示されます。）	●録音されているMDと取り替えてください。	9
	録音できない。	●MDが誤録音防止状態になっている。（“PROTECTED”が表示されます。） ●MDに残り時間がない。（“DISC FULL”が表示されます。） ●255曲収録されたMDに録音しようとしている。（“DISC FULL”が表示されます。） ●デジタル録音されたソースをデジタル録音しようとしている。（“Can't COPY”が表示されます。）	●MDの誤録音防止ツメをずらして、孔を閉じた状態にしてください。 ●MDを取り替えてください。不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 ●MDを取り替えてください。不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 ●SCMSにより、デジタル録音することはできません。	9 ー ー 10
USB	USBメモリーを再生中に正しい表示を行わない。	●USBメモリーのファイル名、タイトル名、アーティスト名、アルバム名に日本語が含まれている。	●日本語の表示には対応していません。（故障ではありません。）	ー

保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 放送やCD、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

■ 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

■ 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、『日本音楽著作権協会』（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先
（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03（5353）0336

(社) 日本音楽著作権協会（JASRAC）

本部	☎ 03（3481）2121
北海道支部	☎ 011（221）5088
盛岡支部	☎ 019（652）3201
仙台支部	☎ 022（264）2266
長野支部	☎ 026（225）7111
大宮支部	☎ 048（643）5461
上野支部	☎ 03（3832）1033
東京支部	☎ 03（3562）4455
西東京支部	☎ 03（5321）9530
東京イベント・コンサート支部	☎ 03（5321）9881
立川支部	☎ 042（529）1500
横浜支部	☎ 045（662）6551
静岡支部	☎ 054（254）2621
中部支部	☎ 052（583）7590
北陸支部	☎ 076（221）3602
京都支部	☎ 075（251）0134
大阪支部	☎ 06（6244）0351
神戸支部	☎ 078（322）0561
中国支部	☎ 082（249）6362
四国支部	☎ 087（821）9191
九州支部	☎ 092（441）2285
鹿児島支部	☎ 099（224）6211
那覇支部	☎ 098（863）1228

メッセージについて

メッセージ	内　容	処　置
ブランク BLANK MD	● 何も記録されていない。（音楽もディスク名も記録されていない。）	● 再生するときは、録音されたMDと取り替えてください。
キャント　コピー Can't COPY	● コピー禁止のCDから録音しようとした。	● コピー可能なCDから録音してください。
キャント　エディット Can't EDIT	● MDの編集ができない。	● 別の曲を編集してみてください。
キャント　リード Can't READ※ （※は数字や記号です）	● ディスクに傷がある。 ● TOC情報が読めない。 ● 規格外のCDまたはMD。 ● ディスクが表裏逆。	● CDまたはMDを入れ直すか、取り替えてください。 ● オールイレースをして、録音をやり直してください。
キャント　レコード Can't REC	● ショックやディスクの傷で正しく録音できなかった。	● 録音をやり直すか、MDを取り替えてみてください。
キャント　レコード Can't T REC	● タイマー録音ができない。またはMDに録音できる空きがない。	● 他の録音用MDと取り替えてください。
キャント　ライト Can't WRITE	● ショックやディスクの傷でTOC情報が正しく作成できない。	● 電源を切って、もう一度書き込みをしてみてください。書き込み中はショックを与えないでください。
ノー　ディスク CD NO DISC	● CDが入っていない。	● CDを入れてください。 ● CDをもう一度入れ直してください。
ディスク　フル DISC FULL	● MDに録音できる空きがない。	● 他の録音用MDと取り替えてください。
エディット　オーバー EDIT OVER	● MDの録音時間が足りない。	● 録音時間のあるMDと取り替えてください、
MECHA Err※※ （※※は数字や記号です）	● MDが正しく働いていない。	● MD ⏏を押してみてください。 ● 電源を切って、再度電源を入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。
ノー　ディスク MD NO DISC	● MDが入っていない。 ● MDのデータが読めない。	● MDを入れてください。 ● MDをもう一度入れ直してください。
ネーム　フル NAME FULL	● ディスク名・曲名が40文字を超えている。	● ディスク名・曲名を短くしてください。
ノット　オーディオ Not Audio	● オーディオ用でないデータが記録されている。	● MDを取り替えてください。
プレイバック PLAYBACK MD	● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。	● 録音用MDと取り替えてください。
パワー POWER?	● MD動作が異常。	● 電源を切って、再度電源を入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。
プロテクテッド PROTECTED	● MDの誤録音/誤消去防止ツメが開いている。	● 誤録音/誤消去防止ツメを閉じてください。
テンプ　オーバー TEMP OVER	● 温度が高くなりすぎた。	● 電源を切って、しばらく置いてください。
トック　フォーム TOC FORM※※ （※※は数字や記号です）	● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか、読めない。	● 他のMDと取り替えてください。 ● オールイレースをして、録音をやり直してください。
トック　フル TOC FULL	● 曲番を登録する空きがない。	● 他のMDと取り替えてください。
トック　フル TOC FULL 1	● TOCに文字情報を登録する空きがない。	● 他のMDと取り替えてください。 ● 不要な文字を消してください。
ウェイト　ガード WAIT※※mGUARD （※※は数字です）	● 高速での録音ができない。	● 表示された時間だけ録音を待つか、等速で録音してください。
フォーカス　エラー Focus Err トック　エラー TOC Err S トック　エラー TOC Err R ディスク DISC ? トック　エラー TOC Err T	● データに異常がある。 ● 規格外のMDである。 ● MDが正しく入っていない。	● MD ⏏ボタンを押してください。 ● 他のMDと取り替えてください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力	フロントスピーカー　14W（7W+7W　EIAJ）
オーディオ入出力端子	外部入力端子、3.5mm ヘッドホン端子

チューナー部

受信周波数帯域	FM：76MHz〜108MHz AM：522kHz〜1629kHz
受信感度	FM：1.5μV/75Ω AM：20μV
FMステレオ分離度	35dB（1kHz）

CD部

ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%　W.peak）以下
標本化周波数	44.1kHz
光源	半導体レーザー

MD部

形式	ミニディスク　デジタル　オーディオシステム
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%　W.peak）以下
標本化周波数	44.1kHz
音声圧縮/伸長方式	ATRAC/ATRAC3　24ビット演算方式
録音方式	磁気変調オーバーライト方式
光源	半導体レーザー

時計・タイマー部

時計	月差　1分以内
タイマー	エブリディタイマー（1系統） ワンスタイマー（再生/録音　1系統） スリープタイマー（最大120分） （同時に複数のタイマーを設定することはできません。）

共通部

電源	AC 100V　50/60Hz
消費電力	32W（電気用品安全法による） スタンバイ時　約0.8W
最大外形寸法	462（幅）×176（高さ）×180（奥行き）mm （フット、つまみ、端子を含む）
質量	6.2kg

センター部（D-C7USB）

最大外形寸法	201（幅）×176（高さ）×180（奥行き）mm
質量	3.2kg

スピーカー部（SC-C7USB）：（1本あたり）

最大外形寸法	137（幅）×176（高さ）×180（奥行き）mm
質量	1.5kg

リモコン（RC-1023）

リモコン方式	赤外線パルス式
電源	DC 3V　単3形乾電池2本使用
最大外形寸法	49（幅）×145.3（高さ）×22（奥行き）mm
質量	89.5g（乾電池を含む）

＊EIAJ規格とは、（社）電子情報技術産業協会（略称：JEITA）が制定した規格です。

ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

MEMO：

MEMO：

MEMO：

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：	年　　月　　日

Printed in Malaysia　00D 511 4394 102B